

デートDVに関する中学生への

意識調査報告書

平成22年12月

宇都宮市 男女共同参画課

# 目次

I	調査概要	2 頁
II	調査結果の概要	4 頁
	～単純集計から分かったこと～	4 頁
	～クロス集計から分かったこと～	8 頁
III	調査結果分析	10 頁
	～単純集計～	10 頁
	～クロス集計～	35 頁
IV	有識者からのコメント	44 頁
V	資料編	48 頁
	男女間の人権意識に関するアンケート調査票	48 頁

# I 調査概要

## 1 調査の目的

DV未然防止の観点に立ち、若年層への防止啓発を充実するため、本市中学生のデートDVに関する意識調査を実施するもの。

なお、調査結果は中学生向けのデートDV防止啓発出前講座プログラムの作成などに活用する。

## 2 調査名

「男女間の人権意識に関するアンケート調査」

## 3 調査期間

平成22年6月25日～7月7日

## 4 調査対象及び人数

宇都宮市内中学校3年生 計8校974名

## 5 有効回答数

908名（男子450名，女子458名），回答率 93.2%

## 6 調査方法

無記名自己記入式質問紙による調査

## 7 調査票の構成

- ・ 家族等との関係や自尊感情に関すること
- ・ 性別役割分担意識に関すること
- ・ 異性間の暴力における対応に関すること
- ・ 異性間の暴力への認識に関すること
- ・ DVについての認知・関心に関すること

## 8 調査項目及び質問内容

調査項目	質問内容
1 家族などの関係についておたずねします。	①友人と一緒にいることは楽しいですか？ ②友人に大切にされていると思いますか？ ③家族と一緒にいることは楽しいですか？ ④家族に大切にされていると思いますか？ ⑤自分のことが好きですか？
2 男女の役割などについて、あなたの考えをおたずねします。	①家事や育児は女性の仕事だと思いませんか？ ②男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？ ③女性は男性に従うべきだと思いませんか？ ④男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いませんか？ ⑤女性は自己主張せず控えめなほうがよいと思いませんか？
3 あなたが交際（異性と付き合う）した場合、次のような時に、自分はどのように対応すると思いませんか？	交際相手（付き合っている異性）と意見が合わないときどうしますか？ ②交際相手に腹がたったらどうしますか？ ③交際相手に暴力を振るってしまったらあなたはどうしますか？ ④交際相手から暴力を振るわれたらどうしますか？ ⑤交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？
4 交際相手との間で次のような行為があった場合、その行為を暴力であると思いませんか？	①殴ったり蹴ったりする ②物をこわしたり、怒鳴ったりする ③長時間無視する ④メールなどで行動をチェックし、制限する ⑤交際相手との間では暴力は起こらないと思う
5 DV（ドメスティック・バイオレンス）についておたずねします。	①「DV」を知っていますか？ ②「デートDV」を知っていますか？ ③自分に関係のあることだと思いませんか？ ④「デートDV」について詳しく知りたいと思いませんか？

## Ⅱ 調査結果の概要

### ～単純集計から分かったこと～

#### 1 家族等との関係や自尊感情に関すること

- ・ 95.1%の生徒が、友人に大切にされていると思うと回答し、94.8%の生徒が、家族に大切にされていると思うと回答するなど、友人や家族と良好な関係を築いていることが伺える。
- ・ 58.4%の生徒が、自分のことを好きと感じている。また、男子と比べると、女子の自尊感情は低くなっている。

##### 1-① 友人と一緒にいることは楽しいですか？

- ・ 99.0%の生徒が、友人と一緒にいることは楽しいと回答している。

##### 1-② 友人に大切にされていると思いますか？

- ・ 95.1%の生徒が、友人に大切にされていると回答している。

##### 1-③ 家族と一緒にいることは楽しいですか？

- ・ 90.6%の生徒が、家族と一緒にいて楽しいと回答している。

##### 1-④ 家族に大切にされていると思いますか？

- ・ 94.8%の生徒が、家族に大切にされていると回答している。

##### 1-⑤ 自分のことが好きですか？

- ・ 58.4%の生徒が、自分のことが好きと回答している。
- ・ 男子と比べると、女子の方が、自分のことが好きではないと回答する傾向が強い。

#### 2 性別役割分担意識に関すること

- ・ 64.1%の生徒が、家族や育児は女性の仕事だと思い、89.1%の生徒が、男性は結婚したら、家族を養うべきだと思うなど、性別役割分担意識を持っている。
- ・ 男女ともに、社会によって作り上げられた「女性像（控えめ、男性に従う）」の意識は弱い、「男性像（一家の中心、強くたくましい）」を依然として強く持っている。また、女子と比べると、男子は社会によって作り上げられた「男性像」を強く持っている。

2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？

・64.1%の生徒が、家事や育児は女性の仕事だと思うと回答している。

2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？

・89.1%の生徒が、男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思うと回答している。また、女子と比べると、男子の方がその意識が強い。

2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？

・82.5%の生徒が、女性は男性に従うべきだとは思わないと回答している。また、男子と比べると、女子の方がその意識が強い。

2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？

・68.5%の生徒が、男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思うと回答している。また、女子と比べると、男子の方がその意識が強い。

2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがよいと思いますか？

・77.7%の生徒が、女性は自己主張せず控えめなほうがよいとは思わないと回答している。  
・女子と比べると、男子の方が、女性は自己主張せず控えめなほうがよいと思う傾向が強い。

### 3 異性間の暴力における対応に関すること

- ・75.6%の生徒が、交際相手と意見が合わないときは、話し合いで決めると回答しているが、2.7%の生徒は、自分の意見に従わせると回答している。
- ・56.6%の生徒が、交際相手に腹が立ったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答しているが、男女別では、男子はがまんし、女子は自分の気持ちを言葉で伝える傾向が強い。
- ・交際相手から暴力を振るわれたら、56.6%の生徒が友人に相談し、28.1%の生徒は誰にも相談しないと回答している。

3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？

・75.6%の生徒が、交際相手と意見が合わないときは、話し合いで決めると回答しているが、2.7%の生徒は、自分の意見に従わせると回答している。

3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？

・56.6%の生徒が、交際相手に腹がたったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答している。  
・交際相手に腹がたったら、男子はがまんし、女子は自分の気持ちを言葉で伝える傾向が強い。

3-③ 交際相手に暴力を振るってしまったらあなたは どうしますか？

・88.2%の生徒が、交際相手に暴力を振るってしまったら、あやまると回答している。

### 3-④ 交際相手から暴力を振るわれたらどうしますか？

- ・54.6%の生徒が、交際相手から暴力を振るわれたら、やめてと言うと回答している。
- ・交際相手から暴力を振るわれたら、男子はがまんし、女子はその場からにげるという傾向が強い。

### 3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？

- ・交際相手から暴力を振るわれたら、56.6%の生徒が友人に相談し、28.1%の生徒は誰にも相談しないと回答している。
- ・交際相手から暴力を振るわれたら、男子は誰にも相談せず、女子は友人に相談する傾向が強い。

## 4 異性間の暴力への認識等に関すること

- ・94.2%の生徒が、殴ったり蹴ったりすることは暴力であると思うと回答しているが、5.8%の生徒は、そう思わないと回答している。
- ・身体的暴力の認識は高いものの、精神的暴力や社会的暴力についての認識は低い。
- ・71.1%の生徒が、交際相手との間では暴力は起こらないと思うと回答している。

### 4-① 殴ったり蹴ったりする

- ・94.2%の生徒が、殴ったり蹴ったりすることは暴力であると思うと回答しているが、5.8%の生徒は、そう思わないと回答している。

### 4-② 物をこわしたり、怒鳴ったりする

- ・86.8%の生徒が、物をこわしたり、怒鳴ったりすることは暴力であると思うと回答しているが、13.2%の生徒は、そう思わないと回答している。

### 4-③ 長時間無視する

- ・39.5%の生徒は、長時間無視することを暴力とは思わないと回答している。
- ・男子と比べると、女子の方が、長時間無視することは暴力であるとは思わないと回答している。

### 4-④ メールなどで行動をチェックし、制限する

- ・34.1%の生徒は、メールなどで行動をチェックし、制限することを暴力とは思わないと回答している。

### 4-⑤ 交際相手との間では暴力は起こらないと思う

- ・71.1%の生徒が、交際相手との間では暴力は起こらないと思うと回答している。
- ・女子と比べると、男子の方が、交際相手との間では暴力は起こらないと思うと回答している。

## 5 DVについての認知・関心に関すること

- ・ DVについて66.6%の生徒が、どんなことか知っているが、デートDVについては、86.8%の生徒がどんなことか知らない、分からない。
- ・ 94.3%の生徒が、DVは、自分には関係なく、あまり身近なことではないと回答している。

### 5-① 「DV」を知っていますか？

- ・ 66.6%の生徒が、DVについてどんなことか知っている。
- ・ 女子の方が男子よりもDVについての認知度が高い。

### 5-② 「デートDV」を知っていますか？

- ・ 86.8%の生徒が、デートDVについてどんなことか知らない、分からない。

### 5-③ 自分に関係のあることだと思いますか？

- ・ 94.3%の生徒が、DVは自分には関係なく、あまり身近なことだとは思っていない。

### 5-④ 「デートDV」について詳しく知りたいと思いますか？

- ・ デートDVについて、知りたい、知りたくないという回答は半々である。



## ～クロス集計から分かったこと～

- ・ 交際相手とのトラブルにおいて、自分の意見に従わせたり、攻撃的な対応をしたりすると回答した生徒は、性別役割分担意識や社会によって作り上げられた「男性像（一家の中心，強たくましい）」・「女性像（控えめ，男性に従う）」を強く持っており、自分の気持ちを相手に伝えると回答した生徒は、これらの意識が弱い傾向が見られる。
- ・ 家族に大切にされていると思うと回答した生徒ほど、交際相手から暴力を振るわれたら、家族に相談し、家族に大切にされていないと思うと回答した生徒ほど、交際相手から暴力を振るわれたら、誰にも相談しないと回答している。

クロスした設問項目	結果の概要
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？ 3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？	家族に大切にされていると思うと回答した生徒ほど、交際相手から暴力を振るわれたら、家族に相談すると回答し、家族に大切にされていないと思うと回答した生徒ほど、誰にも相談しないと回答している。
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思えますか？ 2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？	家事や育児は女性の仕事だとは思わないと回答した生徒ほど、女性は男性に従うべきだとは思わないと回答している。
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思えますか？ 3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？	交際相手と意見が合わないときには、自分の意見に従わせると回答した生徒の 88.9%が、家事や育児は女性の仕事だと思うと回答している。
2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？ 3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？	交際相手と意見が合わないとき、自分の意見に従わせると回答した生徒ほど、男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思う傾向が強い。
2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？ 3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？	女性は男性に従うべきだと思わないと回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答している。 交際相手に腹がたったら、相手を攻撃したり、悪口を言うなど回答した生徒は、がまんしたり、相手を無視するなど回答した生徒よりも、女性は男性に従うべきだと思うと回答している。

<p>2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？</p> <p>3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？</p>	<p>交際相手と意見が合わないとき、自分の意見に従わせると回答した男子全員が、男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思うと回答している。</p>
<p>2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがよいと思いますか？</p> <p>3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？</p>	<p>女性は自己主張せず控えめなほうがよいと思うと回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったらがまんし、そうは思わないと回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答している。</p>

# Ⅲ 調査結果分析

## ～単純集計～

### 1 家族等との関係や自尊感情に関することについて

#### 1-① 友人と一緒にいることは楽しいですか？

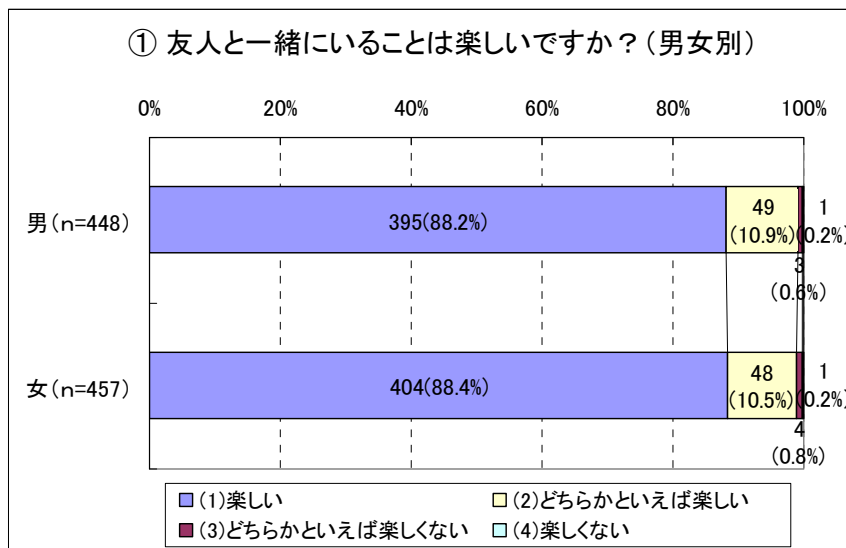
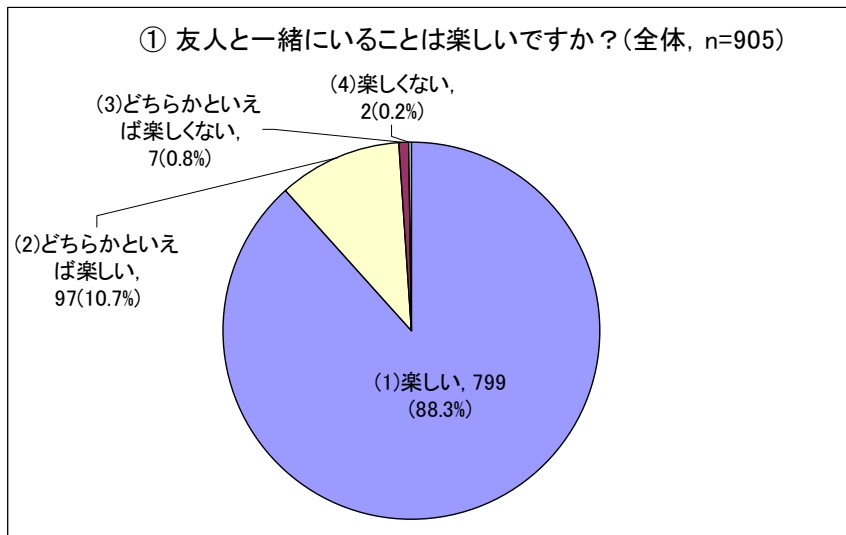
99.0%の生徒が、友人と一緒にいることは楽しいと回答している。

##### 【全体】

○「友人と一緒にいることは楽しいですか？」との問いに対して (n=905), 99.0%の生徒が、友達と一緒にいて「楽しい(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

##### 【男女別】

○男女間における大きな意識差は見られない。



## 1-② 友人に大切にされていると思いますか？

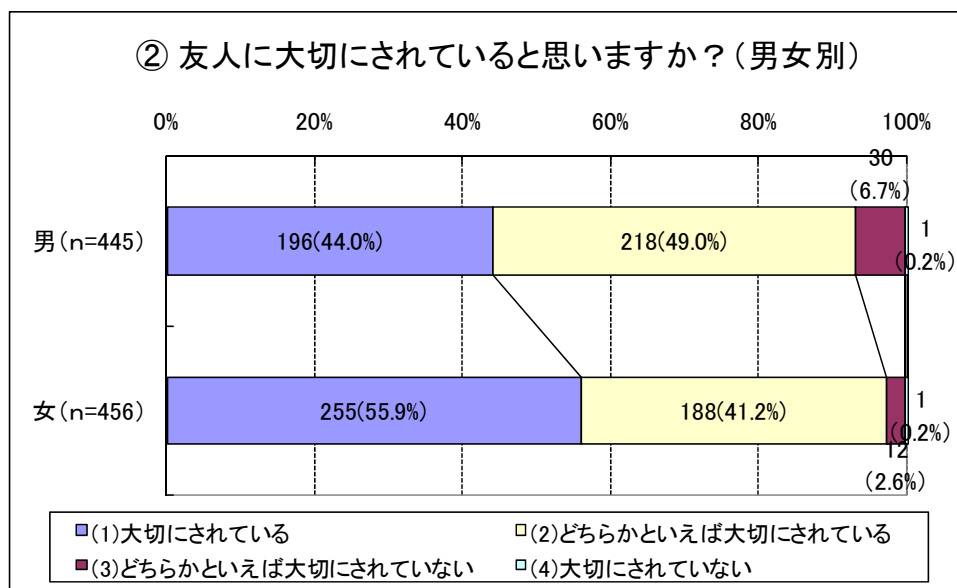
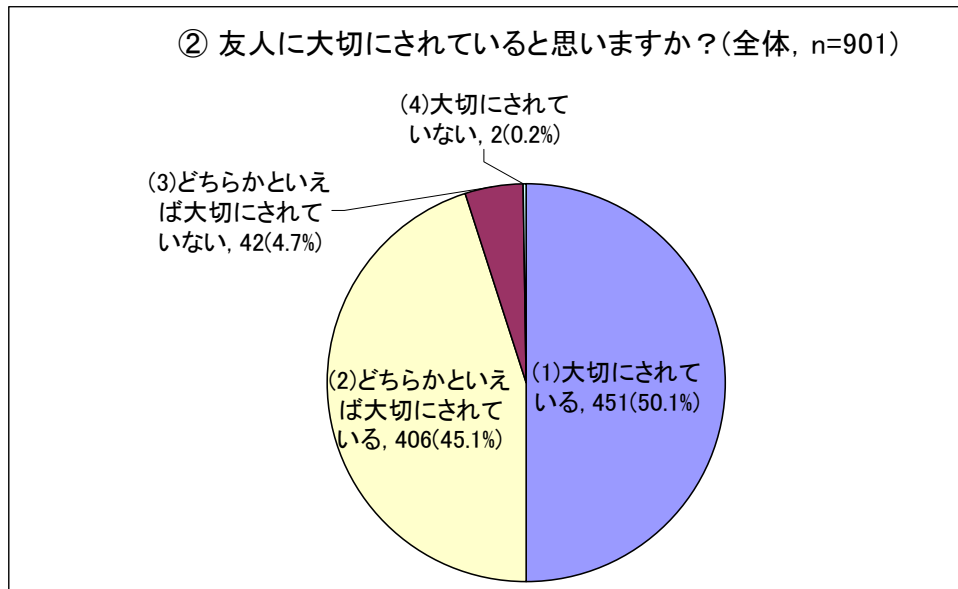
95.1%の生徒が、友人に大切にされていると回答している。

### 【全体】

○「友人に大切にされていると思いますか？」との問いに対して (n=901), 95.1%の生徒が、友人に「大切にされている(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

### 【男女別】

○男子と比べると、女子の方が、友人に「大切にされている」と回答しており(男子：44.0%，女子：55.9%)，男子よりも11.9%高い。なお、「どちらかといえば」を含めると、男女ともに9割以上が友人に「大切にされている」と回答している(男子93.0%，女子97.1%)



### 1-③ 家族と一緒にいることは楽しいですか？

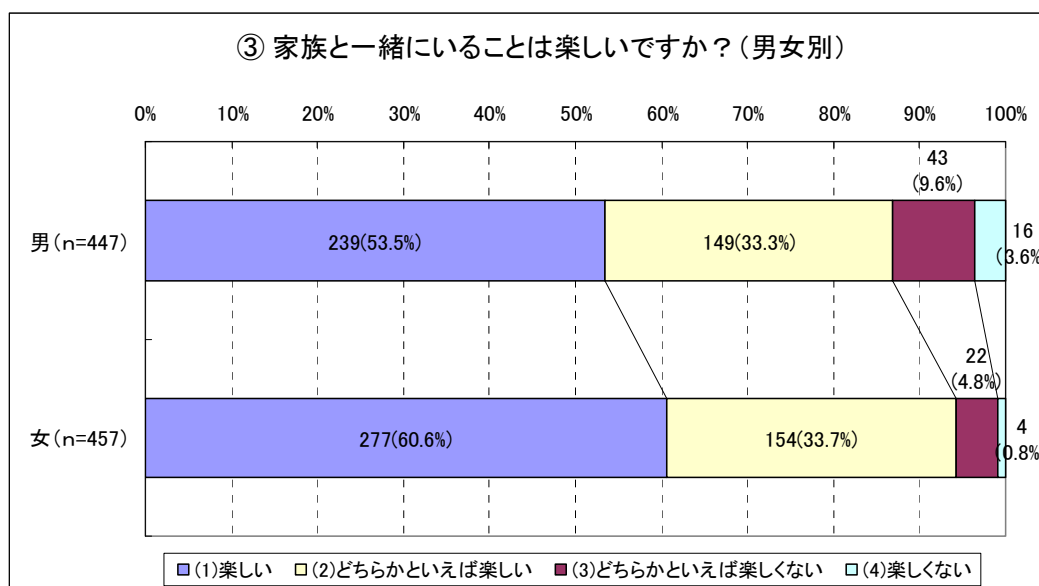
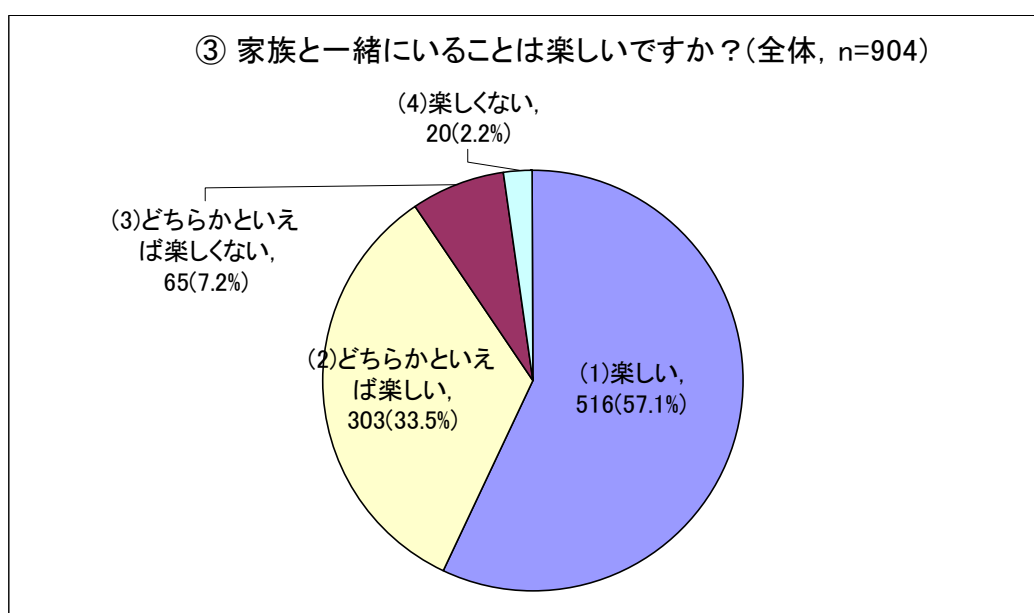
90.6%の生徒が、家族と一緒にいて楽しいと回答している。

#### 【全体】

○「家族と一緒にいることは楽しいですか？」との問いに対して (n=904), 90.6%の生徒が、家族と一緒にいて「楽しい(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

#### 【男女別】

○男子と比べると、女子の方が、家族と一緒にいて「楽しい」と回答している(男子：53.5%, 女子60.6%)。



## 1-④ 家族に大切にされていると思いますか？

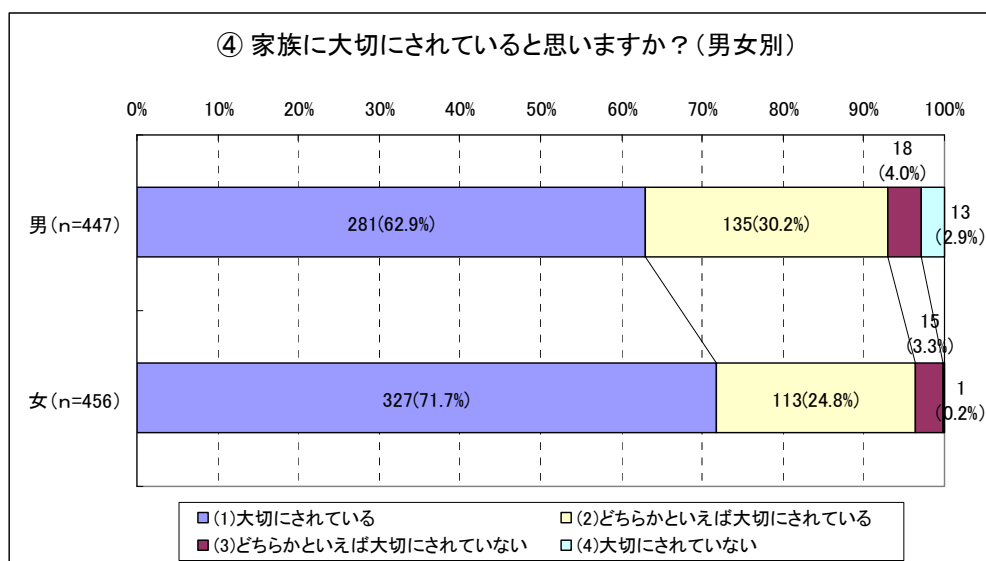
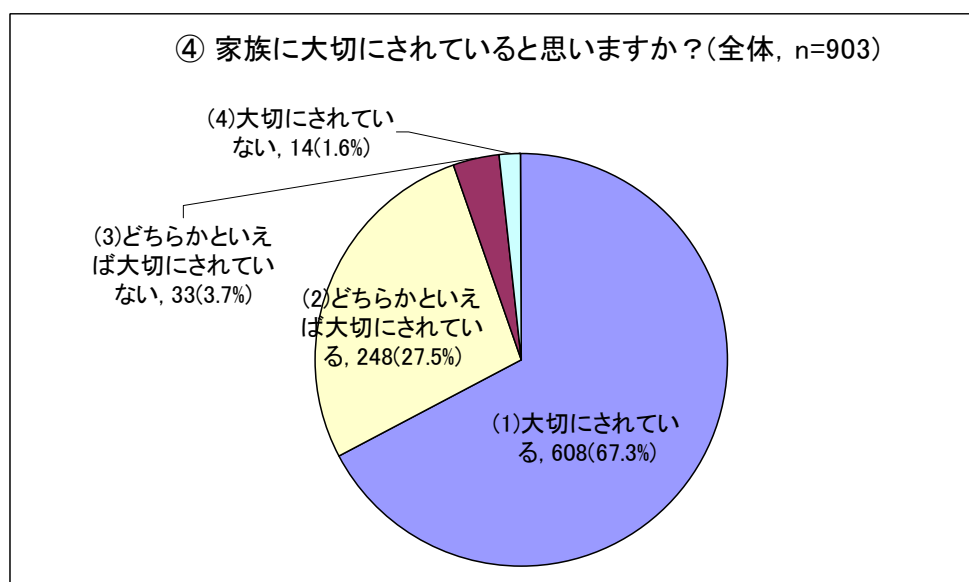
94.8%の生徒が、家族に大切にされていると回答している。

### 【全体】

○「家族に大切にされていると思いますか？」との問いに対して (n=903), 94.8%の生徒が、家族に「大切にされている(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

### 【男女別】

○男子と比べると、女子の方が、家族に「大切にされている」と回答しており、男子よりも8.8%高い。(男子62.9%, 女子71.7%)。なお、「どちらかといえば」を含めると、男女ともに9割以上の生徒が、家族に「大切にされている」と回答している(男子93.1%, 女子96.5%)。



## 1-⑤ 自分のことが好きですか？

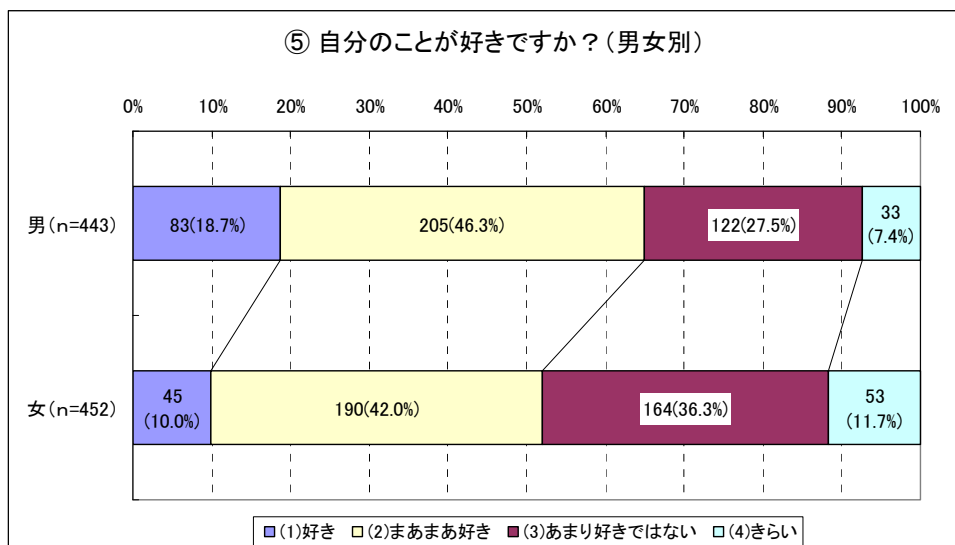
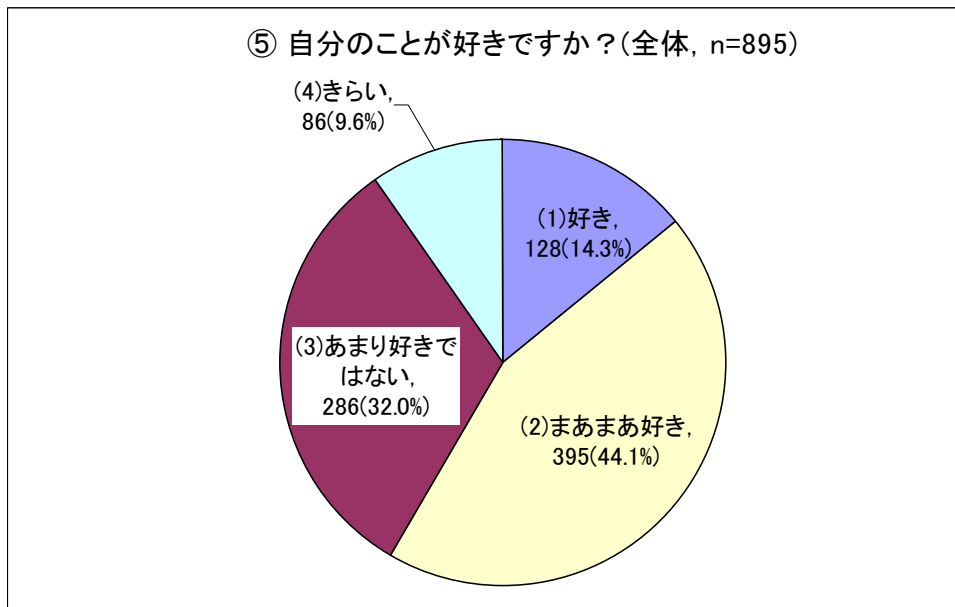
58.4%の生徒が、自分のことが好きと回答しているが、男女別では、男子と比べると、女子の方が、自分のことが好きではないと回答する傾向が強い。

### 【全体】

○「自分のことが好きですか？」との問いに対して（n=895），58.4%の生徒が自分のことを「好き（「まあまあ好き」を含む）」と回答している。

### 【男女別】

○男子と比べると、女子の方が、自分のことが「きらい」と回答しており（「あまり好きではない」を含む），男子よりも13.0%高く（男子：35.0%，女子：48.0%），男女間で大きな意識差が見られた。



## 2 性別役割分担意識に関すること

### 2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？

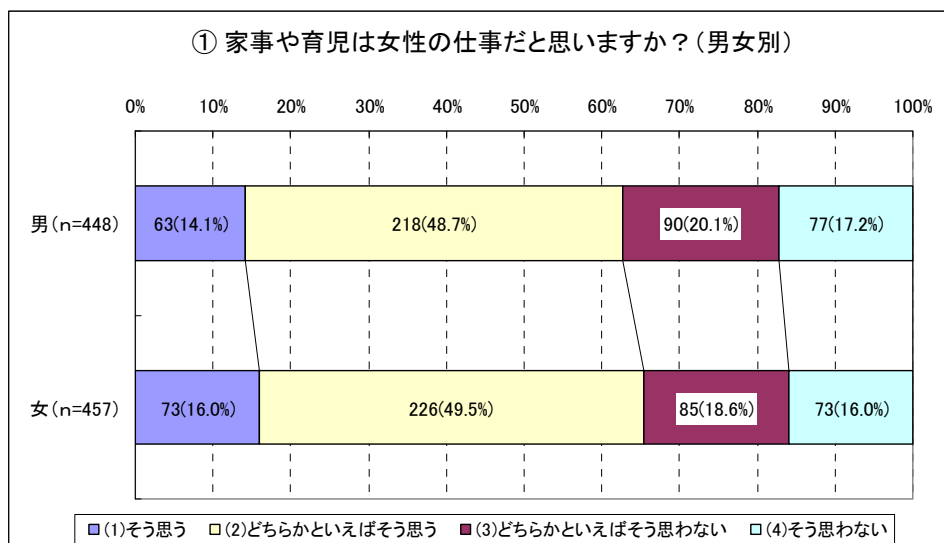
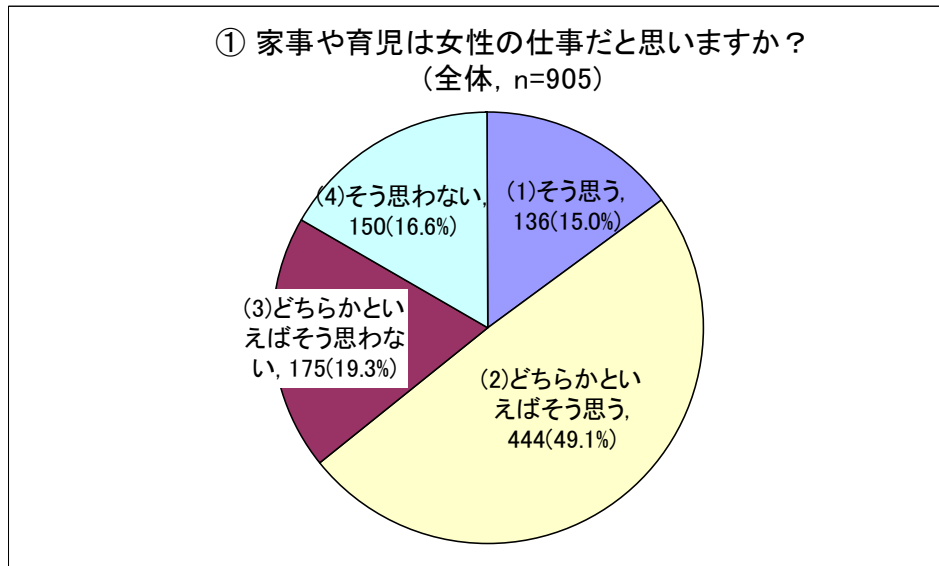
64.1%の生徒が、家事や育児は女性の仕事だと思うと回答している。

#### 【全体】

○「家事や育児は女性の仕事だと思いますか？」との問いに対して（n=905），64.1%の生徒が「そう思う（「どちらかといえば」を含む）」と回答している。

#### 【男女別】

○男女間における大きな意識差は見られない。





## 2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？

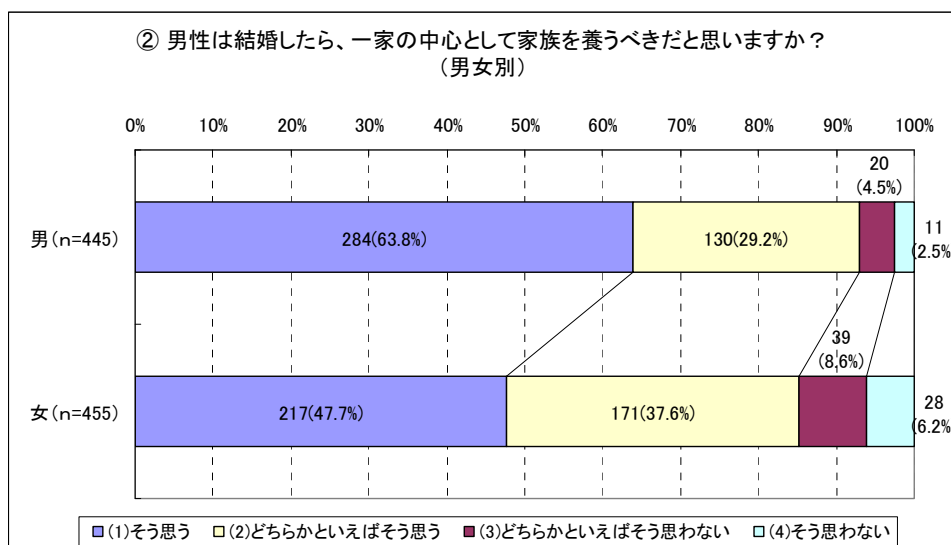
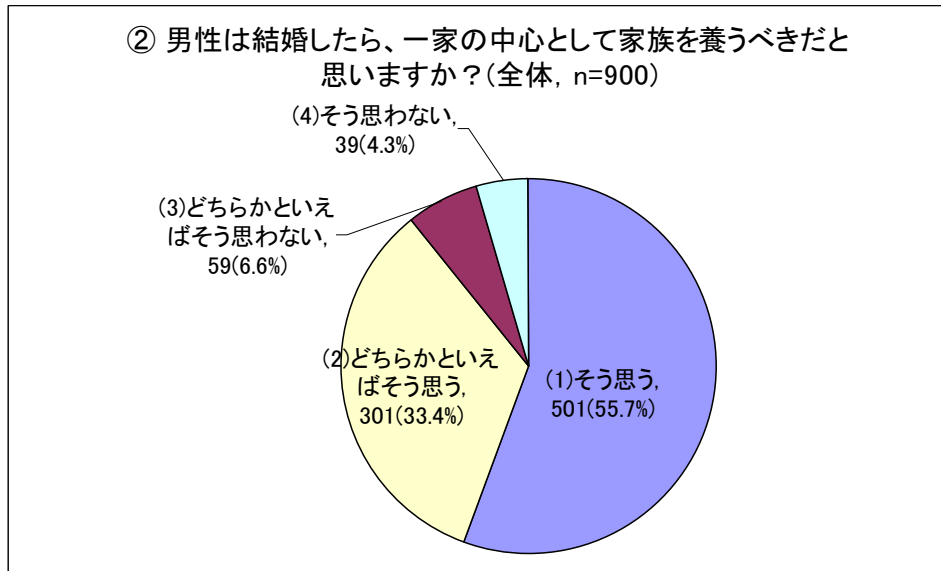
89.1%の生徒が、男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思うと回答している。また、女子と比べると、男子の方がその意識が強い。

### 【全体】

○「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？」との問いに対して (n=900), 89.1%の生徒が「そう思う (「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

### 【男女別】

○女子と比べると、男子の方が、「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきである」と回答している (男子：93.0%, 女子：85.3%, 「どちらかといえば」を含む)。また、「そう思う」については、女子と比べると、男子は16.1%高く、男女間で大きな意識差が見られる (男子：63.8%, 女子：47.7%)。



## 2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？

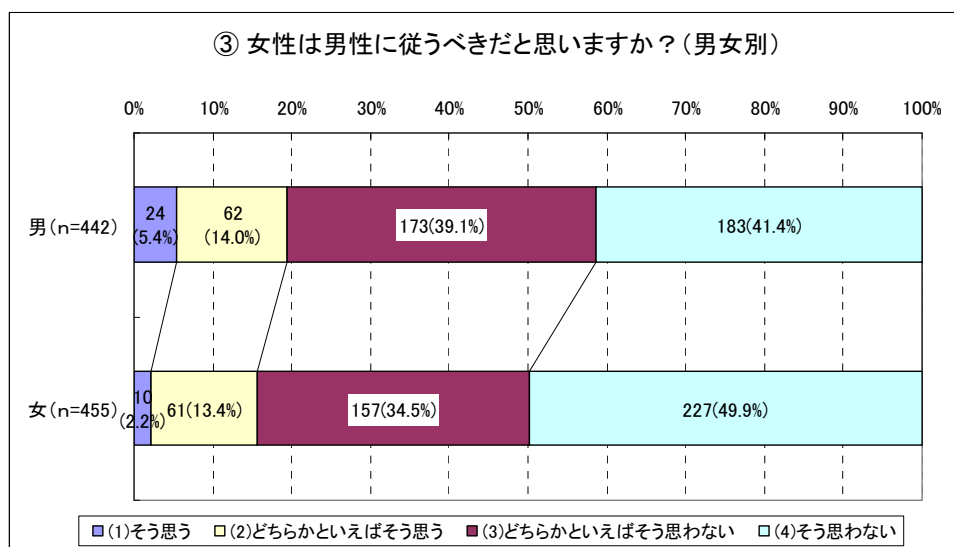
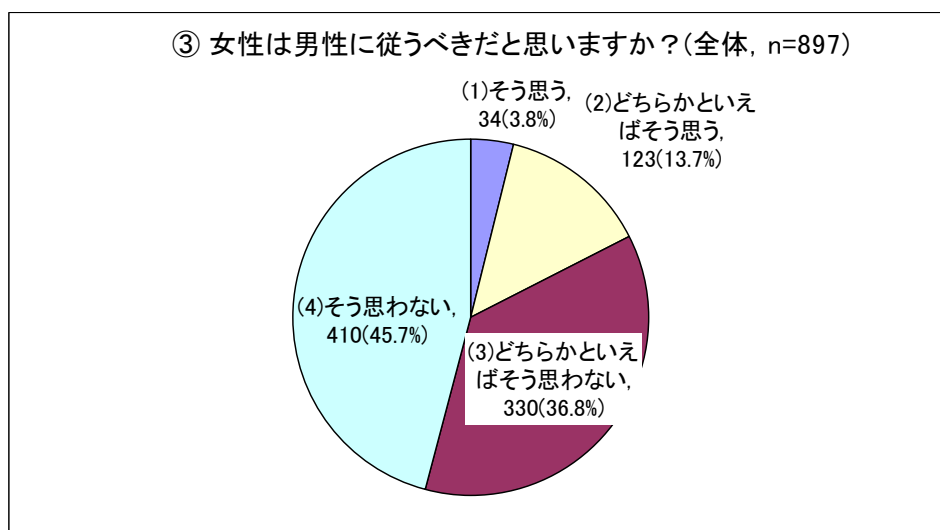
82.5%の生徒が、女性は男性に従うべきだとは思わないと回答している。また、男子と比べると、女子の方がその意識が強い。

### 【全体】

○「女性は男性に従うべきだと思いますか？」との問いに対して (n=897), 82.5%の生徒が「そう思わない(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

### 【男女別】

○男子と比べると、女子の方が、「女性は男性に従うべきとは思わない」と回答している(男子:80.5%, 女子84.4%, 「どちらかといえば」を含む)。また、「そう思わない」については、男子と比べると、女子は8.5%高い(男子:41.4%, 女子49.9%)。  
○「女性は男性に従うべきだと思う」と回答した男子の割合は、女子の約2.5倍になっている(男子:5.4%, 女子:2.2%)。



## 2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？

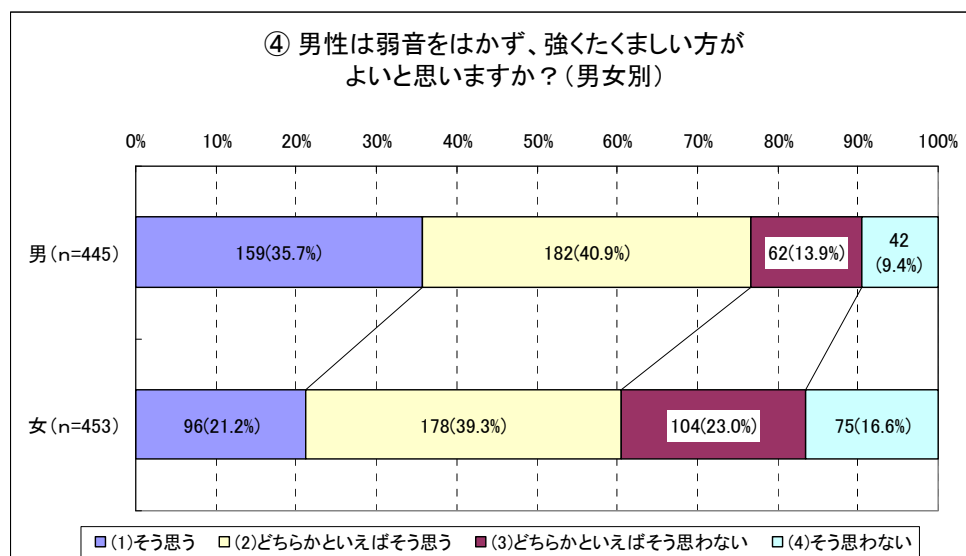
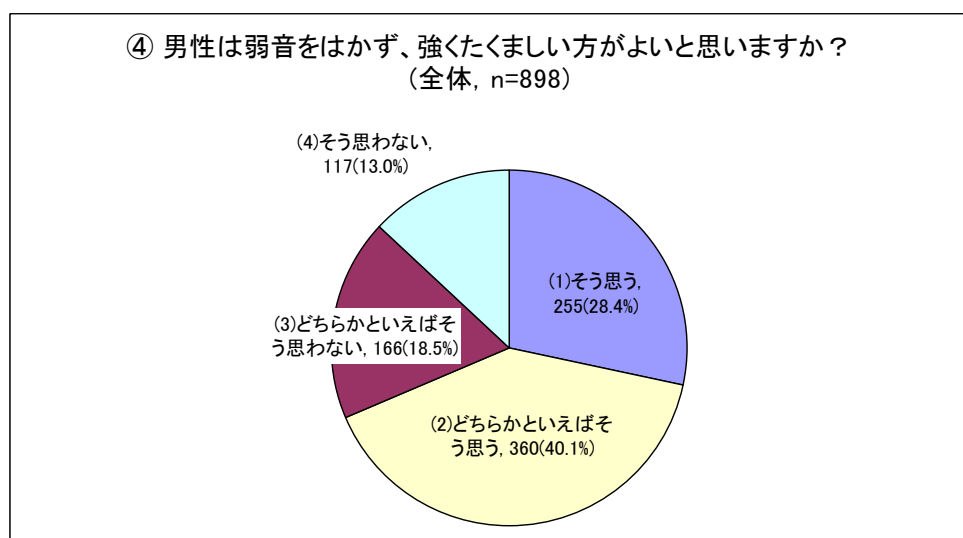
68.5%の生徒が、男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思うと回答している。また、女子と比べると、男子の方がその意識が強い。

### 【全体】

○「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？」との問いに対して（n=898）、68.5%の生徒が「そう思う（「どちらかといえば」を含む）」と回答している。

### 【男女別】

○女子と比べると、男子の方が、「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよい」と回答しており（「どちらかといえば」を含む）、女子よりも16.1%高い（男子：76.6%，女子：60.5%）。



## 2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？

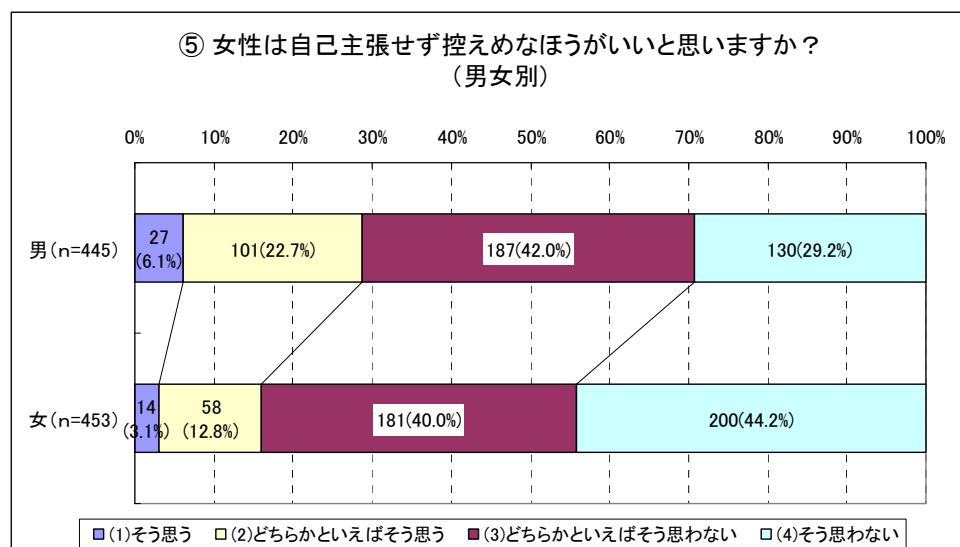
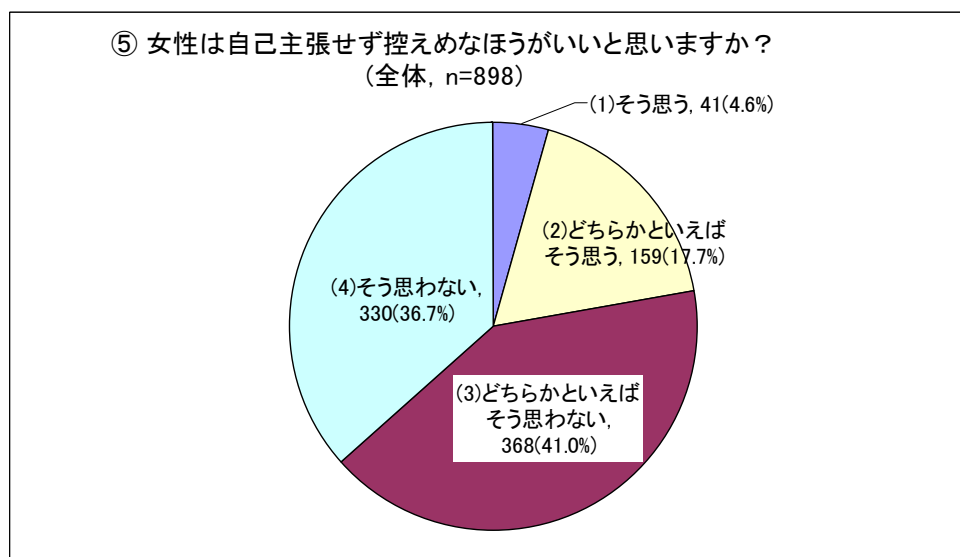
77.7%の生徒が、女性は自己主張せず控えめなほうがいいとは思わないと回答しているが、男女別では、女子と比べると、男子の方が、女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思う傾向が強い。

### 【全体】

○「女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？」との問いに対して (n=898), 77.7%の生徒が、「そうは思わない(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

### 【男女別】

○女子と比べると、男子の方が「女性は自己主張せず控えめなほうがいい(「どちらかといえば」を含む)」と回答しており、女子よりも12.9%高く、1.8倍となっている(男子:28.8%, 女子:15.9%)。



### 3 異性間の暴力における対応に関すること

#### 3-① 交際相手と意見が合わないときどうしますか？

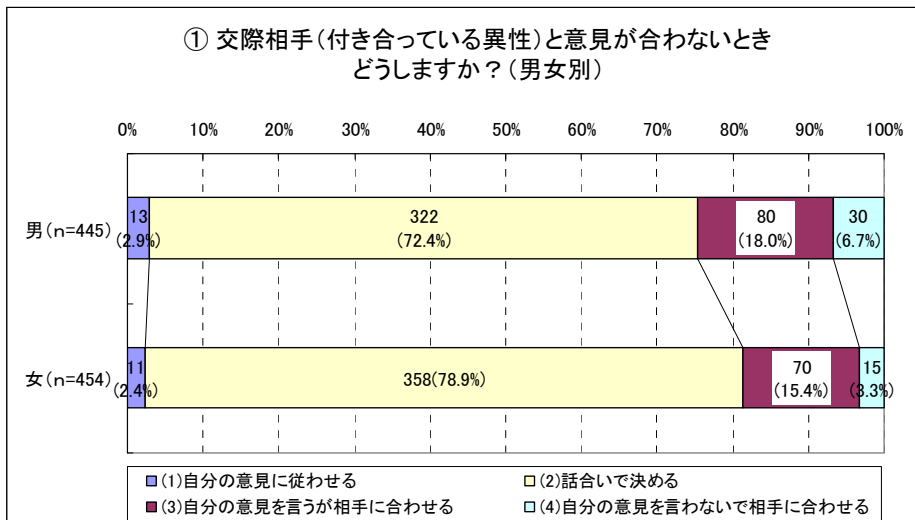
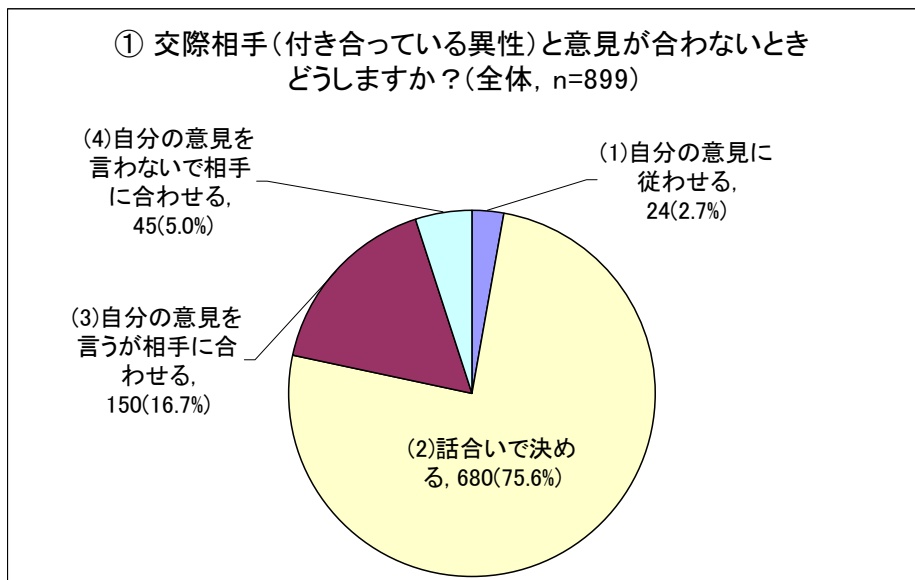
75.6%の生徒が、交際相手と意見が合わないときは、話し合いで決めると回答しているが、2.7%の生徒が、自分の意見に従わせると回答している。

##### 【全体】

○「交際相手（付き合っている異性）と意見が合わないときどうしますか？」との問いに対しては（n=899）、75.6%の生徒が「話し合いで決める」と回答しているが、2.7%の生徒が、「自分の意見に従わせる」と回答している。

##### 【男女別】

- 交際相手と意見が合わないとき、男子と比べると、女子の方が、「話し合いで決める」と回答している（男子：72.4%，女子：78.9%）
- 交際相手と意見が合わないとき、「自分の意見に従わせる」という回答も、男女ともに、わずかながら見られる（男子：2.9%，女子：2.4%）。



### 3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？

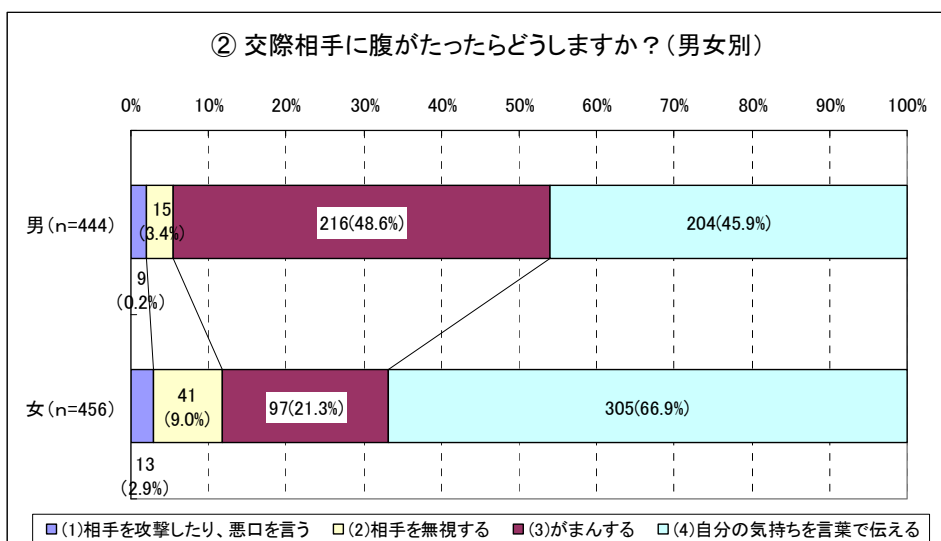
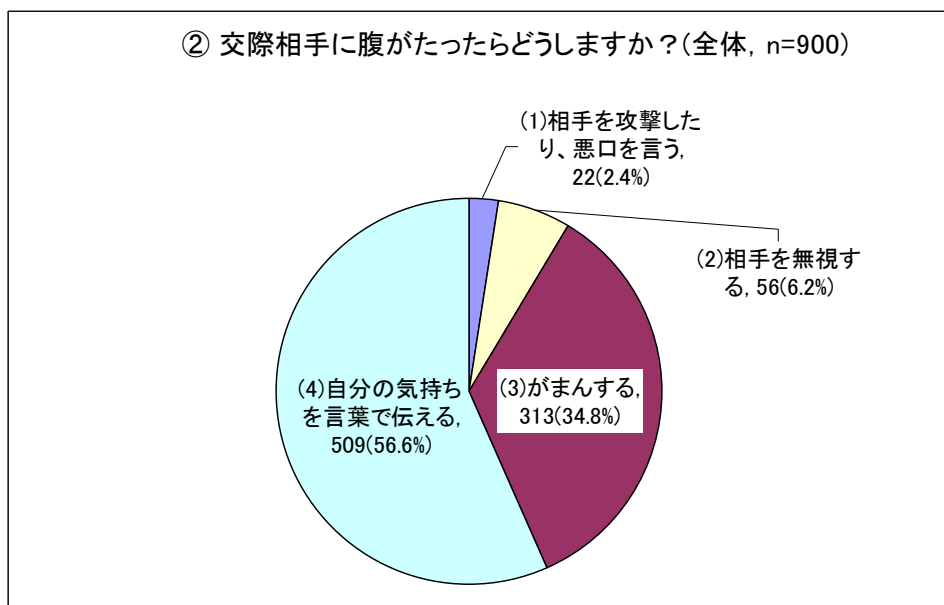
56.6%の生徒が、交際相手に腹がたったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答しているが、男女別では、男子はがまんし、女子は自分の気持ちを言葉で伝える傾向が強い。

#### 【全体】

○「交際相手に腹がたったらどうしますか？」との問いに対して (n=900)、「自分の気持ちを言葉で伝える (56.6%)」、「がまんする (34.8%)」の順に多い。

#### 【男女別】

○交際相手に腹がたったとき、48.6%の男子が「がまんする」と回答しており、女子と比べると男子は27.3%高い。一方、交際相手に腹がたったとき、66.9%の女子が「自分の気持ちを言葉で伝える」としており、男子と比べると女子は21.0%高く (男子：45.9%)、男女間で大きな意識差が見られた。



### 3-③ 交際相手に暴力を振るってしまったらあなたはどうしますか？

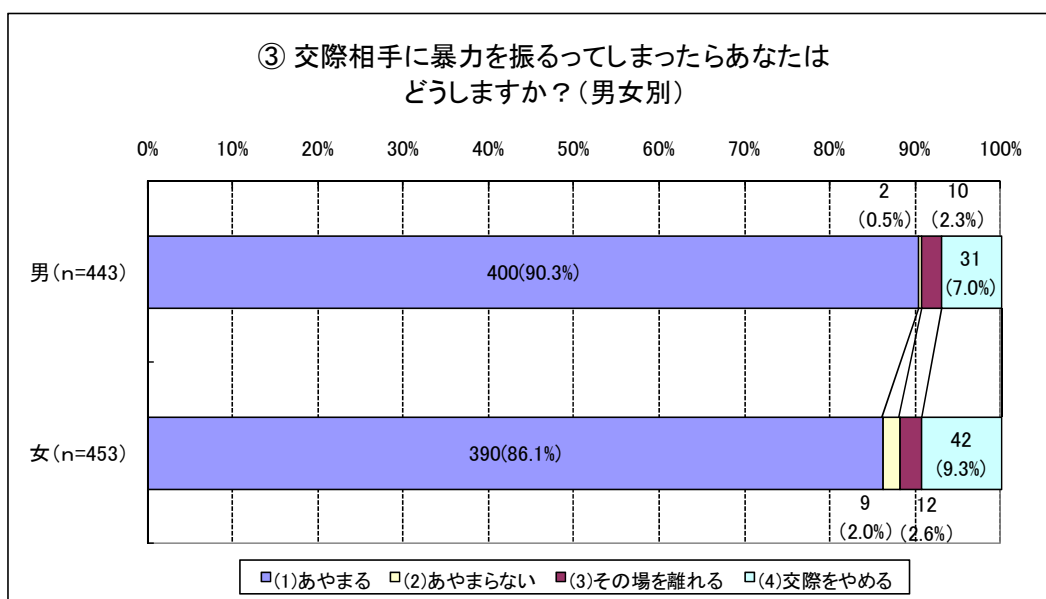
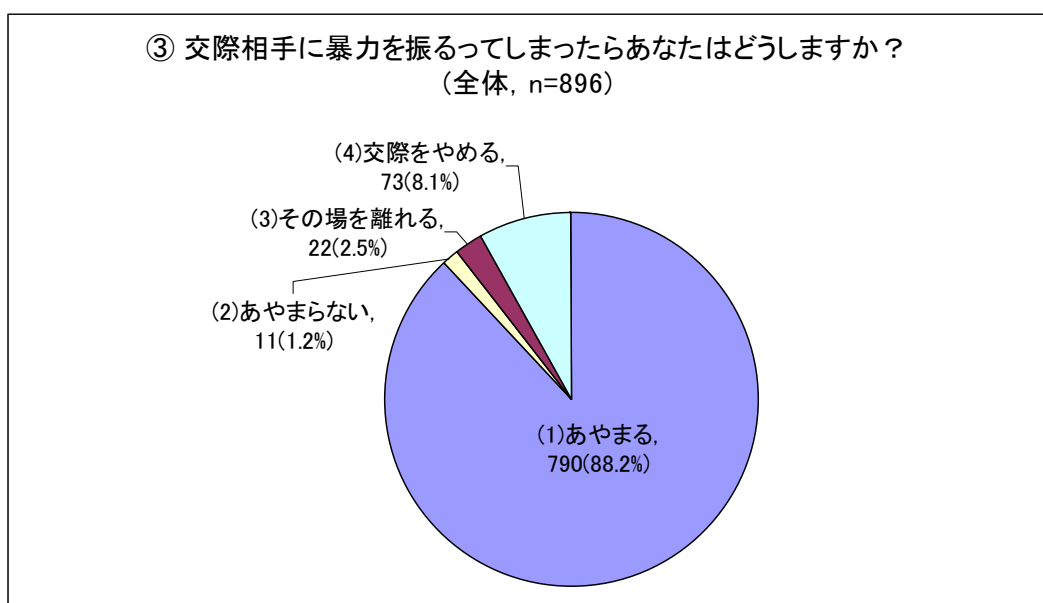
88.2%の生徒が、交際相手に暴力を振るってしまったら、あやまると回答している。

#### 【全体】

○「交際相手に暴力を振るってしまったらあなたはどうしますか？」との問いに対して (n=896), 88.2%の生徒が「あやまる」と回答している。

#### 【男女別】

○男女間における大きな意識差は見られない。



### 3-④ 交際相手から暴力を振るわれたらどうしますか？

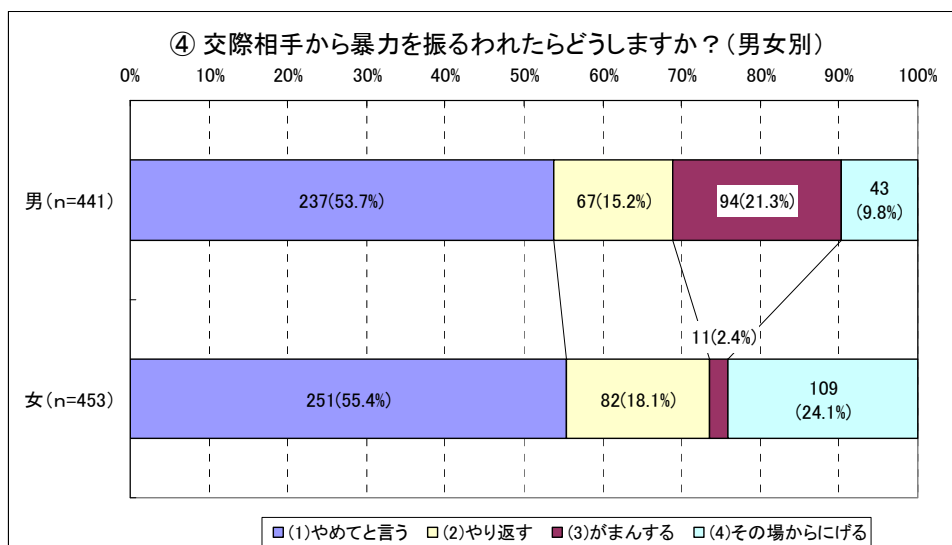
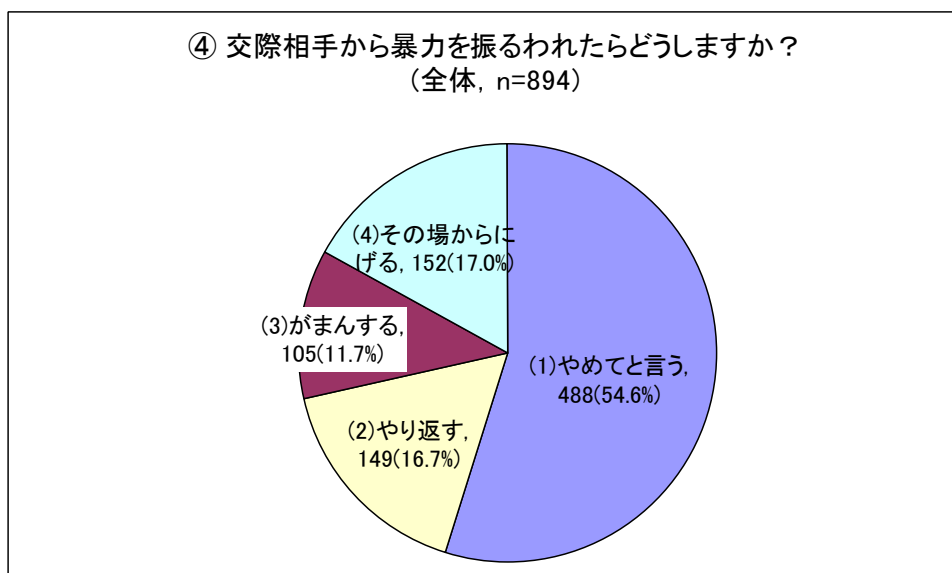
54.6%の生徒が、交際相手から暴力を振るわれたら、やめると言う回答しているが、男女別では、男子はがまんし、女子はその場からにげるという傾向が強い。

#### 【全体】

○「交際相手から暴力を振るわれたらどうしますか？」との問いに対して（n=894）、「やめると言う（54.6%）」、「やり返す（16.7%）」、「がまんする（11.7%）」の順に多い。

#### 【男女別】

○21.3%の男子が、交際相手から暴力を振るわれたら「がまんする」と回答しており、女子と比べると男子は18.9%高い（女子：2.4%）。一方、24.1%の女子が、交際相手から暴力を振るわれたら「その場からにげる」と回答しており、男子と比べると、女子は14.3%高く（男子：9.8%），男女間で大きな意識差が見られた。





### 3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？

交際相手から暴力を振るわれたら、56.6%の生徒が友人に相談し、28.1%の生徒は誰にも相談しないと回答しているが、男女別では、男子は誰にも相談せず、女子は友人に相談する傾向が強い。

#### 【全体】

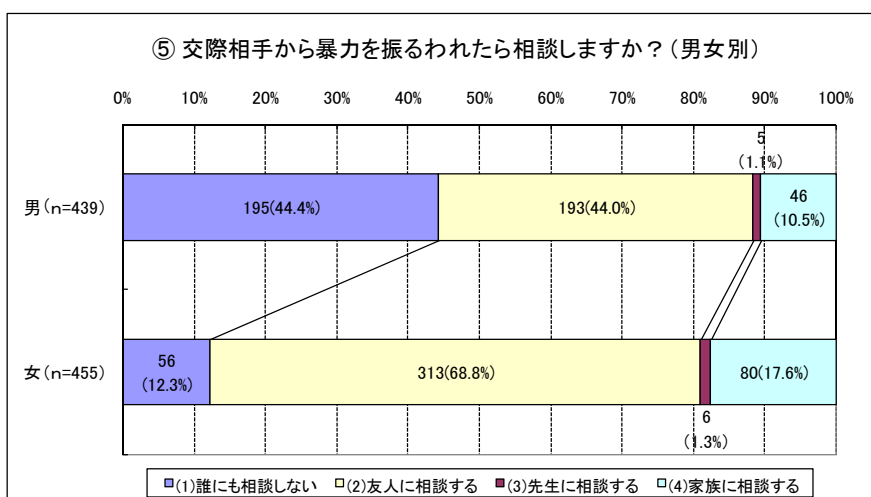
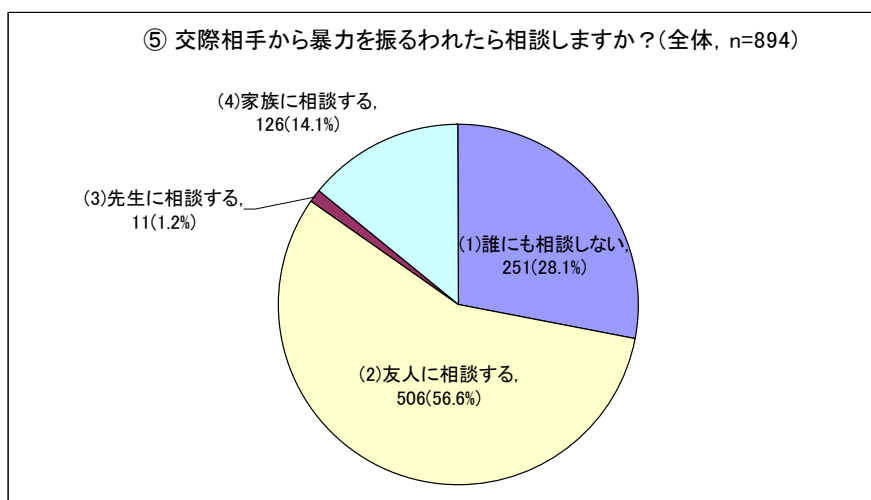
○「交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？」との問いに対しては(n=894)、「友人に相談する(56.6%)」、「誰にも相談しない(28.1%)」の順に多い。

#### 【男女別】

○交際相手から暴力を振るわれたら、44.4%の男子が、「誰にも相談しない」と回答しており、女子と比べると男子は32.1%高く(女子：12.3%)、男女間で大きな意識差が見られた。

○交際相手から暴力を振るわれたら、68.8%の女子が、「友人に相談する」と回答しており、男子と比べると24.8%高く(男子：44.0%)、男女間で大きな意識差が見られた。

○交際相手から暴力を振るわれたとき、男女ともに「先生に相談する」という回答は少ない(男子：1.1%、女子：1.3%)。



## 4 異性間の暴力への認識等に関すること

### 4-① 殴ったり蹴ったりする

94.2%の生徒が、殴ったり蹴ったりすることは暴力であると思うと回答しているが、5.8%の生徒は、そう思わないと回答している。

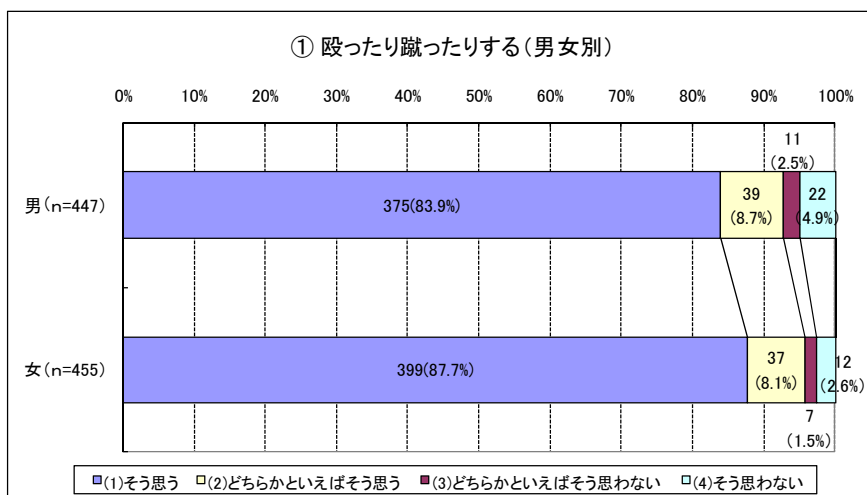
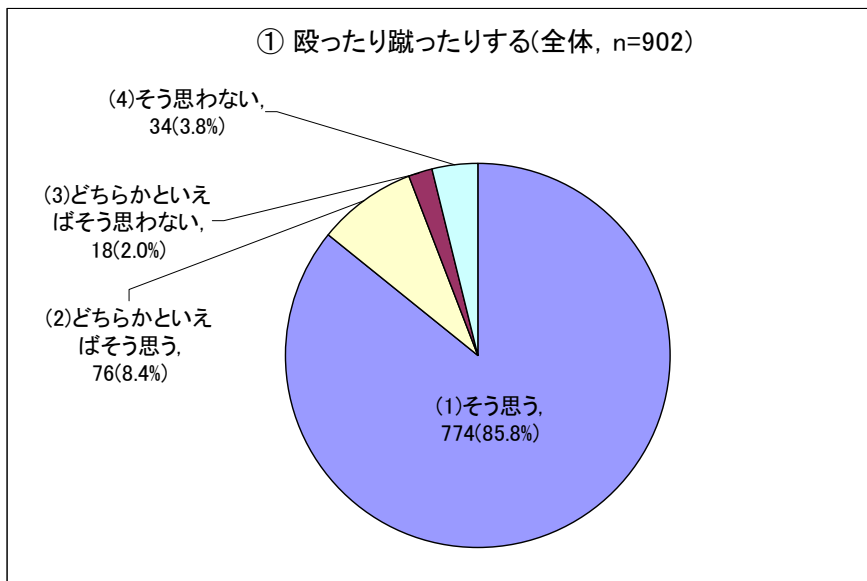
#### 【全体】

○交際相手との間で「殴ったり蹴ったりすることは暴力であると思うか」との問いに対して (n=902), 94.2%の生徒が、「そう思う (「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

○5.8%の生徒が、交際相手との間で殴ったり蹴ったりすることは「暴力であるとは思わない (「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

#### 【男女別】

○交際相手との間で殴ったり蹴ったりすることは「暴力であるとは思わない (「どちらかといえば」を含む)」と回答した生徒は、女子に比べると、男子は約2倍になっている (男子:7.4%, 女子:4.2%)。



## 4-② 物をこわしたり、怒鳴ったりする

86.8%の生徒が、物をこわしたり、怒鳴ったりすることは暴力であると思うと回答しているが、13.2%の生徒は、そう思わないと回答している。

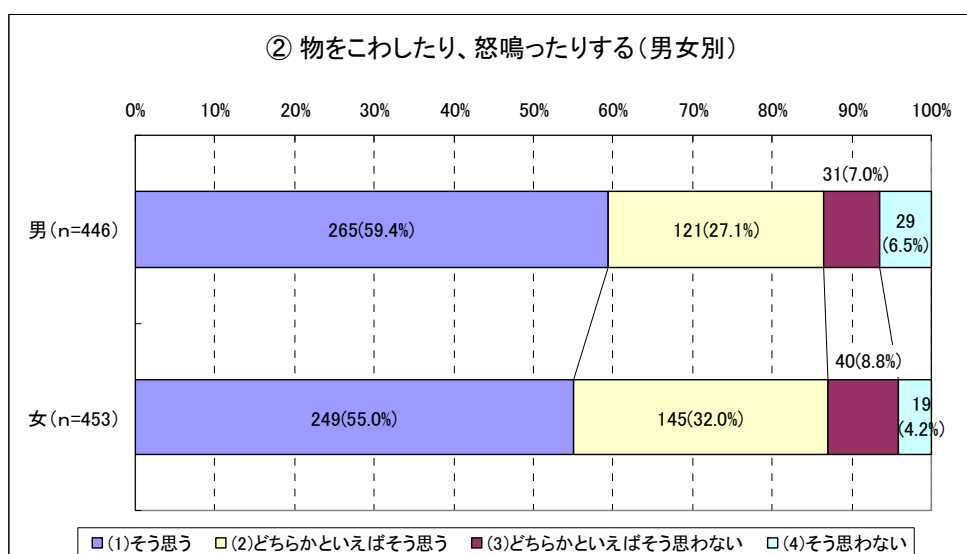
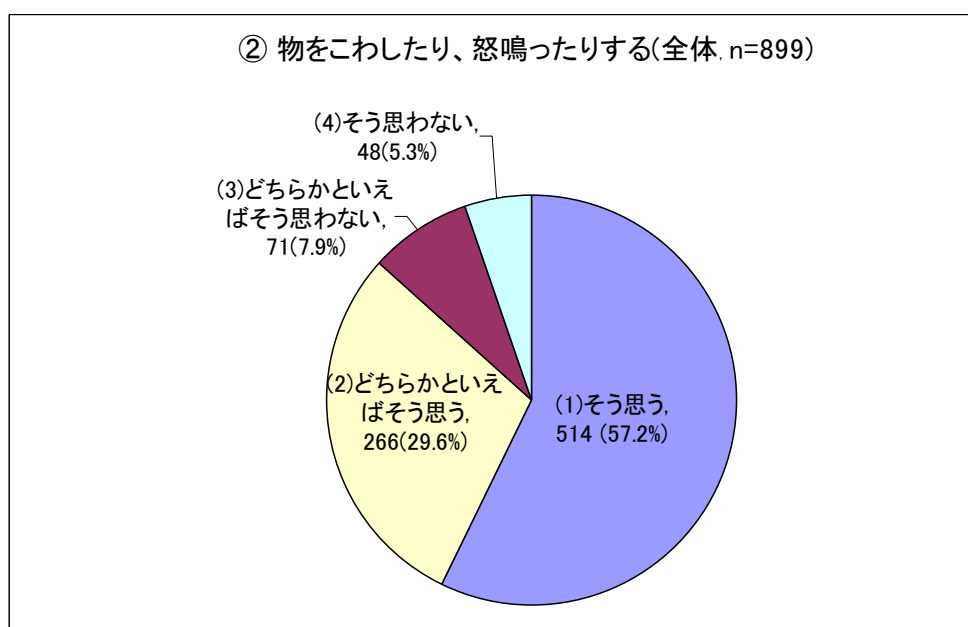
### 【全体】

○交際相手との間で「物をこわしたり、怒鳴ったりすることは暴力であると思うか」との問いに対して (n=899), 86.8%の生徒が「そう思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

○13.2%の生徒が、交際相手との間で物をこわしたり、怒鳴ったりすることは「暴力であるとは思わない(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

### 【男女別】

○男女間における大きな意識差は見られない。



#### 4-③ 長時間無視する

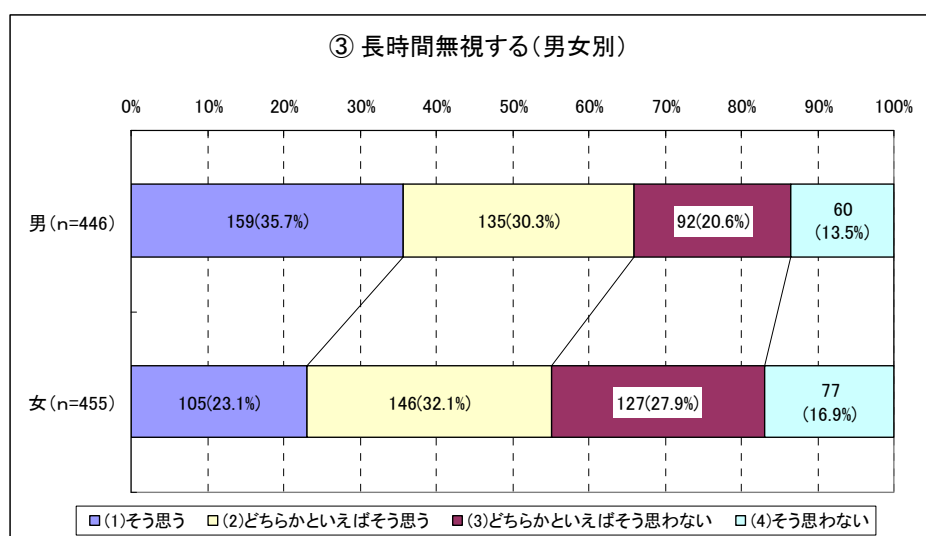
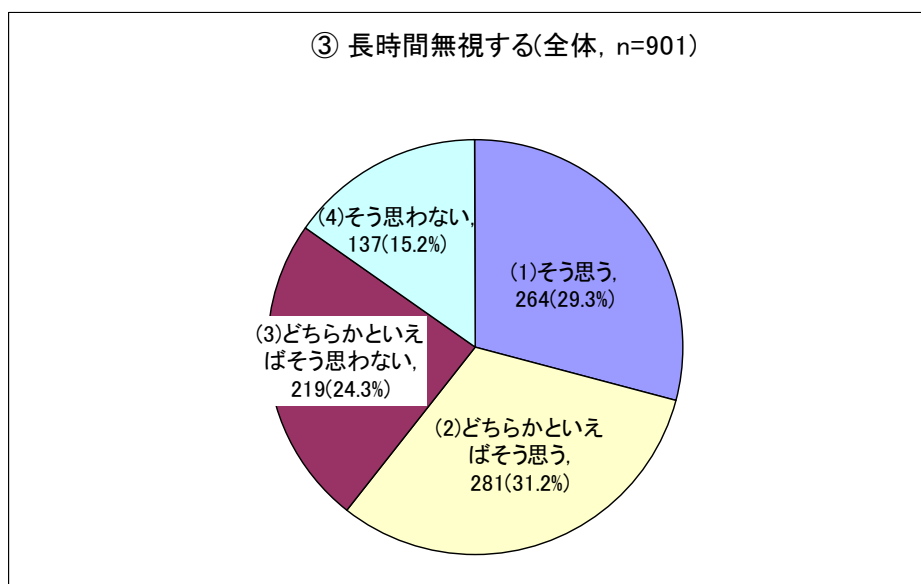
39.5%の生徒は、長時間無視することを暴力とは思わないと回答している。また、男子と比べると、女子の方が、長時間無視することは暴力であるとは思わないと回答している。

##### 【全体】

○交際相手との間で「長時間無視することは暴力であると思うか」との問いに対して (n=901), 60.5%の生徒が「そう思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答し, 39.5%の生徒は「そう思わない(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

##### 【男女別】

○44.8%の女子が、長時間無視することを「暴力であるとは思わない(「どちらかといえば」を含む)」と回答しており, 男子と比べると, 女子は10.7%高い(男子:34.1%)。



#### 4-④ メールなどで行動をチェックし、制限する

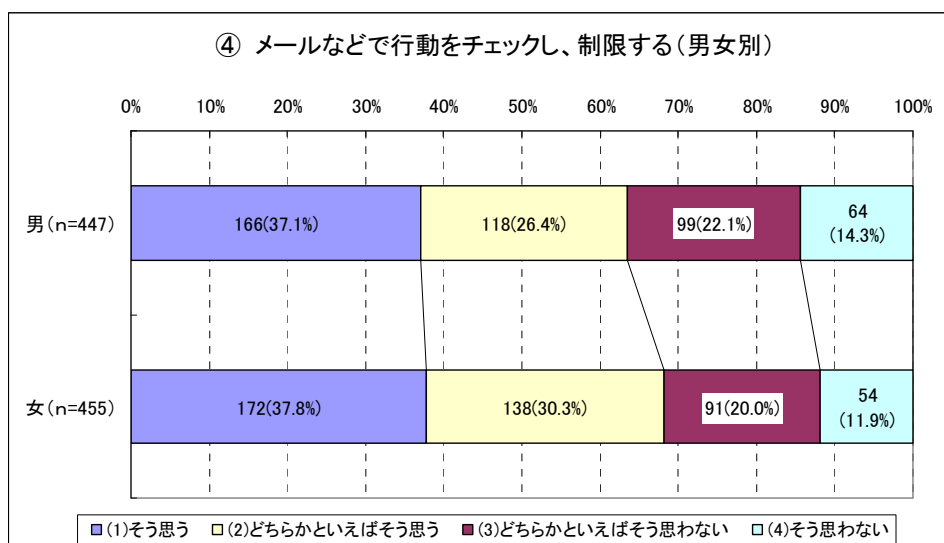
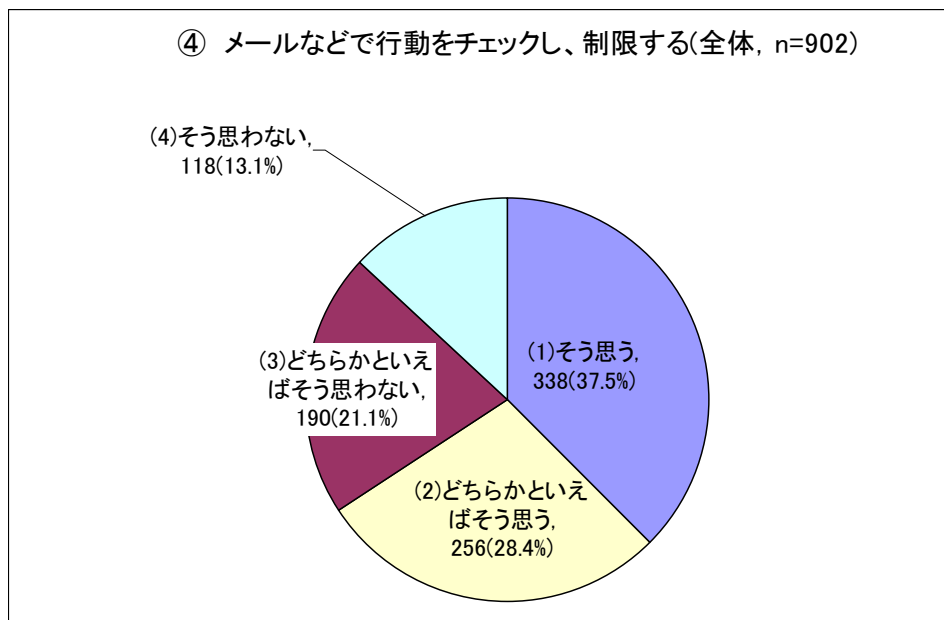
34.1%の生徒は、メールなどで行動をチェックし、制限することを暴力とは思わないと回答している。

##### 【全体】

○交際相手との間で「メールなどで行動をチェックし、制限するとは暴力であると思うか」との問いに対して (n=902), 65.9%の生徒が「そう思う (「どちらかといえば」を含む)」と回答し, 34.1%の生徒が「そう思わない (「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

##### 【男女別】

○男女間における大きな意識差は見られない。

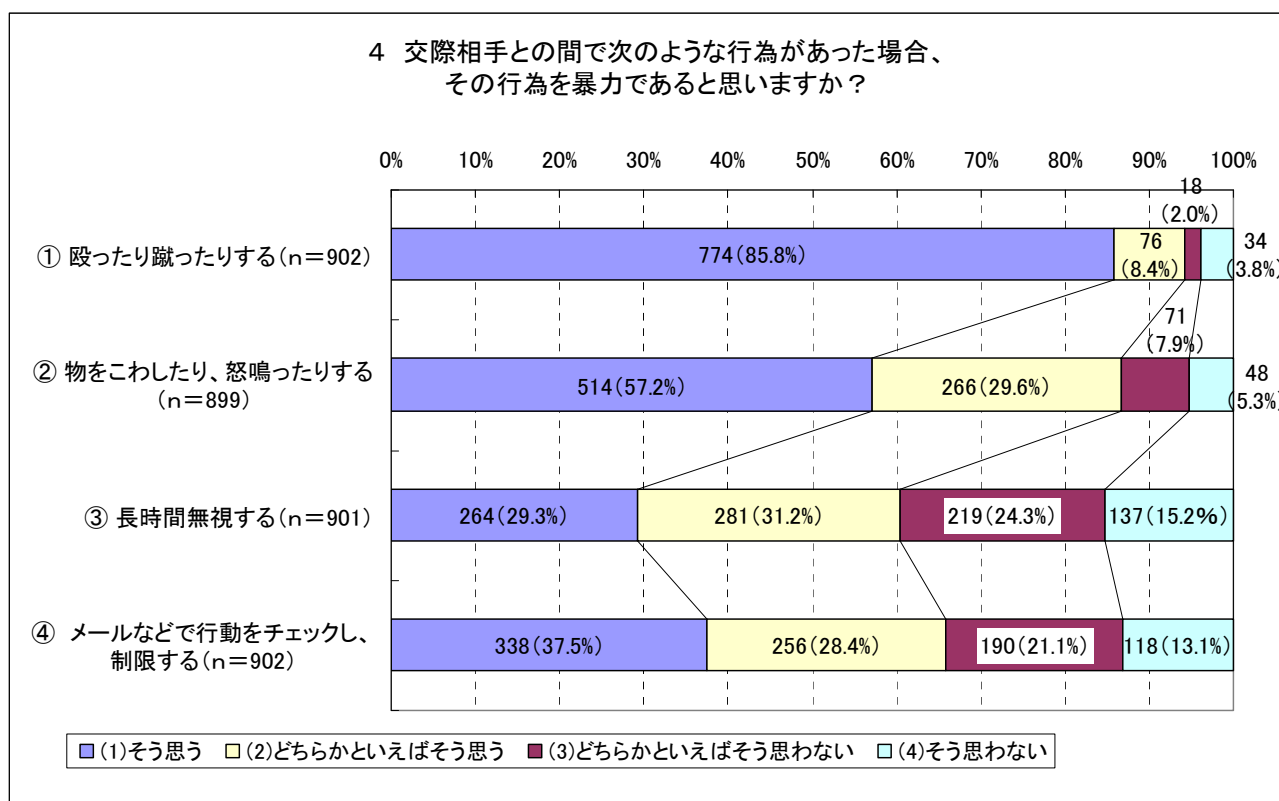


## 4-①～④補足 暴力に対する認識の比較について

殴ったり蹴ったりすることや、物をこわしたり、怒鳴ったりすることなどと比べると、長時間無視することや、メールなどで行動をチェックし、制限することを暴力であると思う割合は低い。

### 【全体】

○交際相手との間で「殴ったり蹴ったりする」、「物をこわしたり、怒鳴ったりする」、長時間無視する、「メールなどで行動をチェックし、制限する」ことは暴力であると思うか否かについて比較したところ、「殴ったり蹴ったりする」や「物をこわしたり、怒鳴ったりする」ことは、暴力であると思うと回答した割合が高いものの、「長時間無視する」ことや「メールなどで行動をチェックし、制限する」ことを暴力であると思うと回答した割合は低い。



#### 4-⑤ 交際相手との間では暴力は起こらないと思う

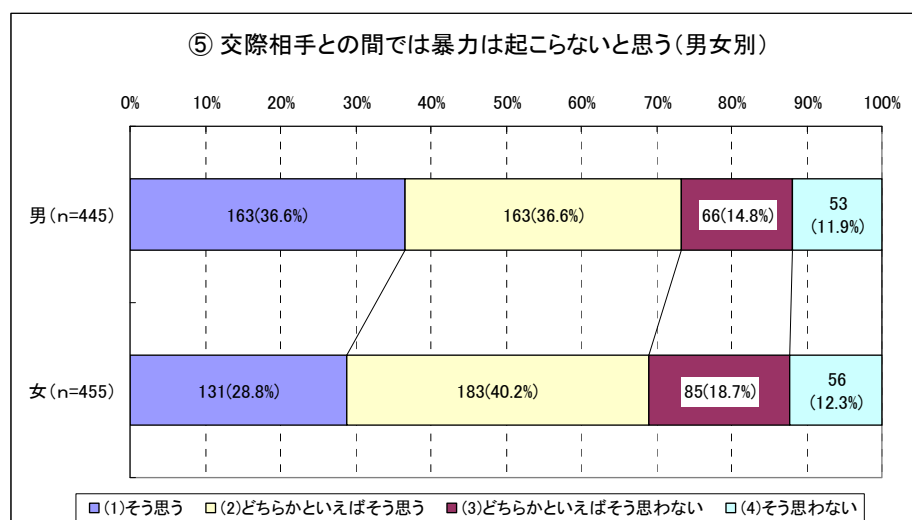
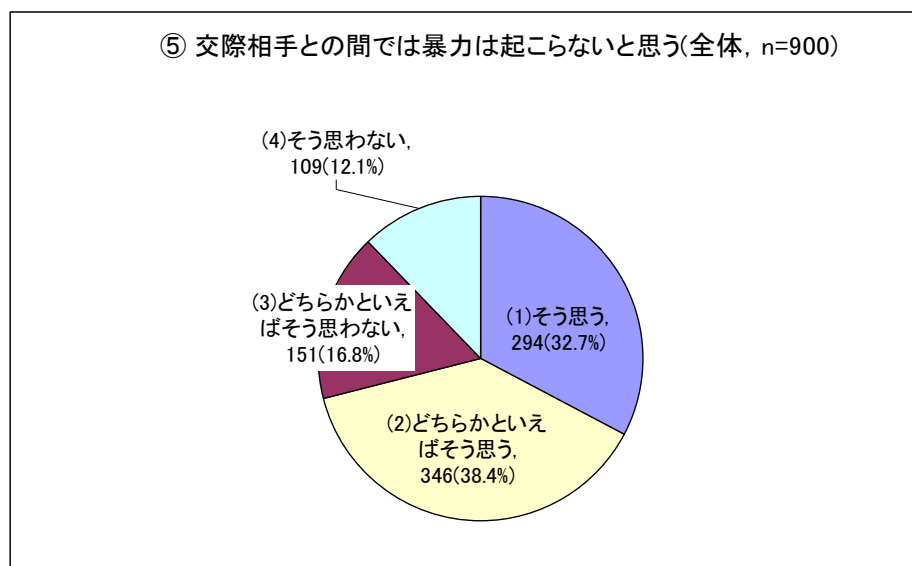
71.1%の生徒が、交際相手との間では暴力は起こらないと思うと回答している。また、女子と比べると、男子の方が、交際相手との間では暴力は起こらないと思うと回答している。

##### 【全体】

○「交際相手との間では暴力は起こらないと思うか」との問いに対して(n=900), 71.1%の生徒が「そう思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。

##### 【男女別】

○女子に比べると、男子の方が、交際相手との間では「暴力は起こらないと思う」と回答しており(「どちらかといえば」を含まず), 女子よりも7.8%高い(男子:36.6%, 女子:28.8%)。



## 5 DVについての認知・関心に関すること

### 5-① 「DV」を知っていますか？

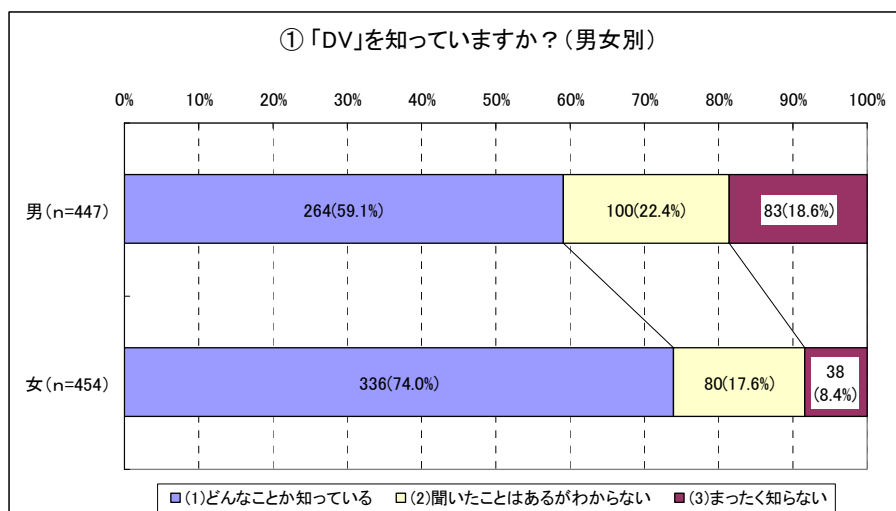
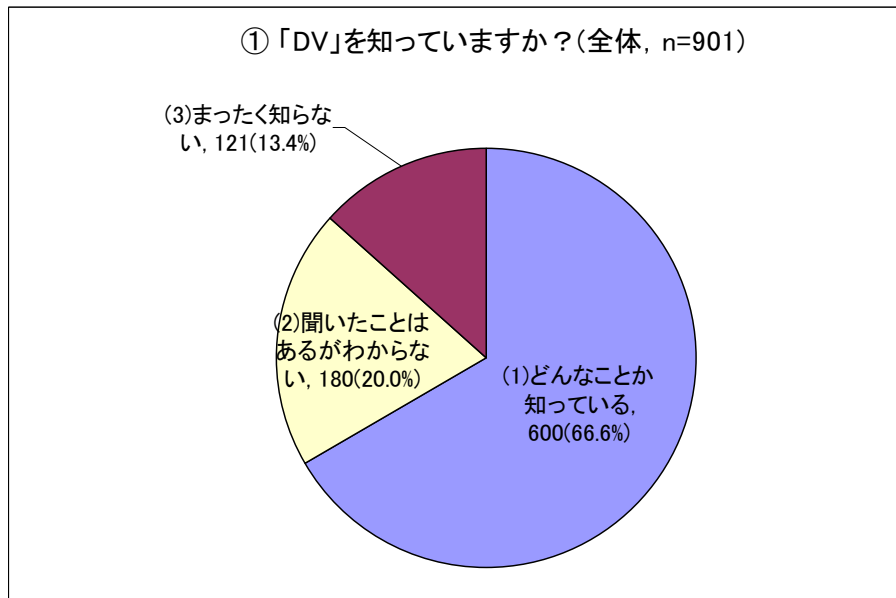
66.6%の生徒が、DVについてどんなことか知っている。また、男子と比べると、女子の方がDVについての認知度が高い。

#### 【全体】

○「DVを知っていますか？」との問いに対して（n=901）、「どんなことか知っている（66.6%）」、「聞いたことはあるがわからない（20.0%）」の順に回答が多い。

#### 【男女別】

○男子と比べると、女子の方が、DVについて「どんなことか知っている」と回答しており（男子：59.1%、女子：74.0%）、男子よりも14.9%高く、男女間における大きな意識差が見られた。





## 5-② 「デートDV」を知っていますか？

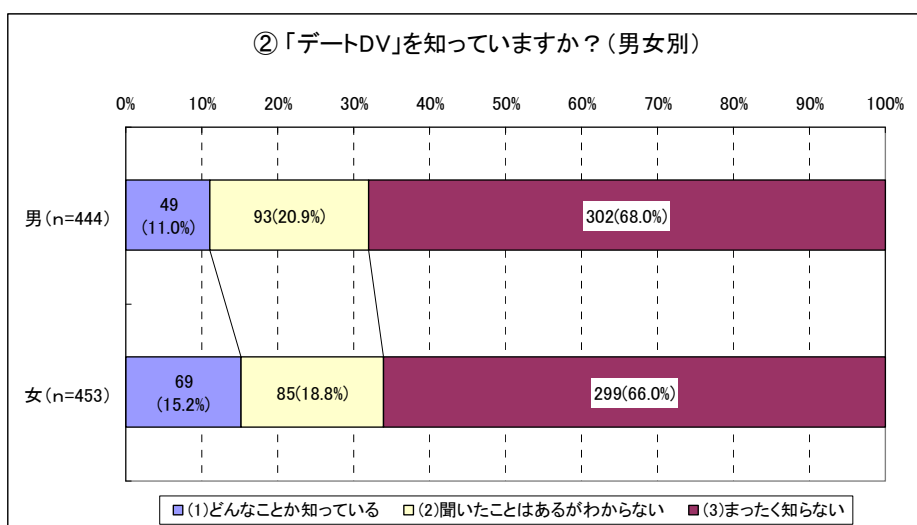
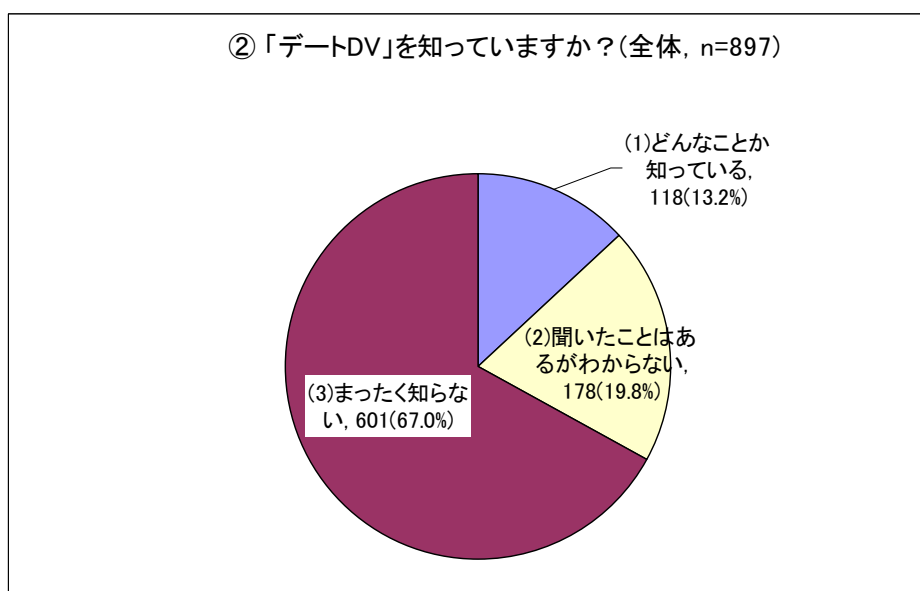
86.8%の生徒が、デートDVについてどんなことか知らない、分からない。

### 【全体】

- 「デートDVを知っていますか？」との問いに対して (n=897), 67.0%が「まったく知らない」, 19.8%が「聞いたことはあるがわからない」と回答している。
- 13.2%の生徒が「どんなことか知っている」と回答しており, 「DV」と比べると, 知っている割合は非常に低い (DVの認知度: 66.6%)。

### 【男女別】

- 男女間における大きな意識差は見られない。



### 5-③ 自分に関係のあることだと思えますか？

94.3%の生徒が、DVは自分に関係なく、あまり身近なことだとは思っていない。

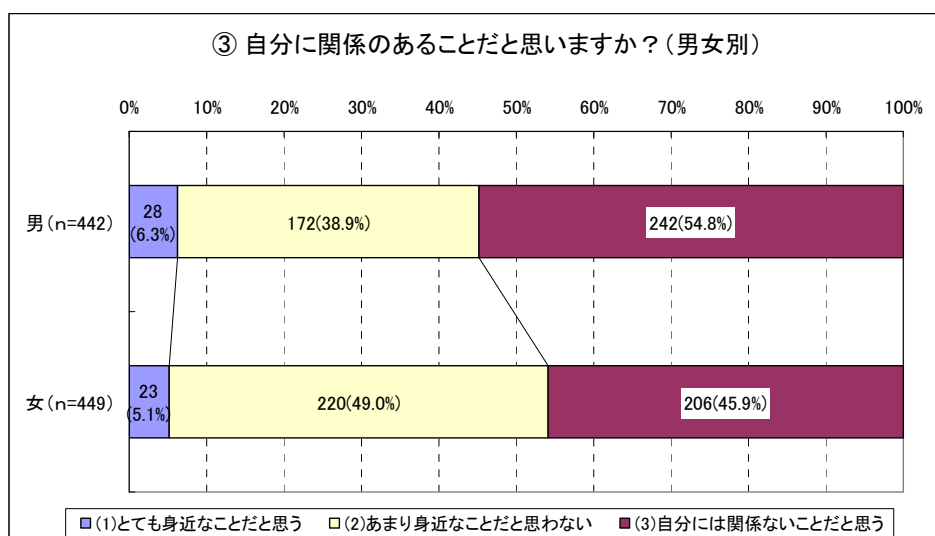
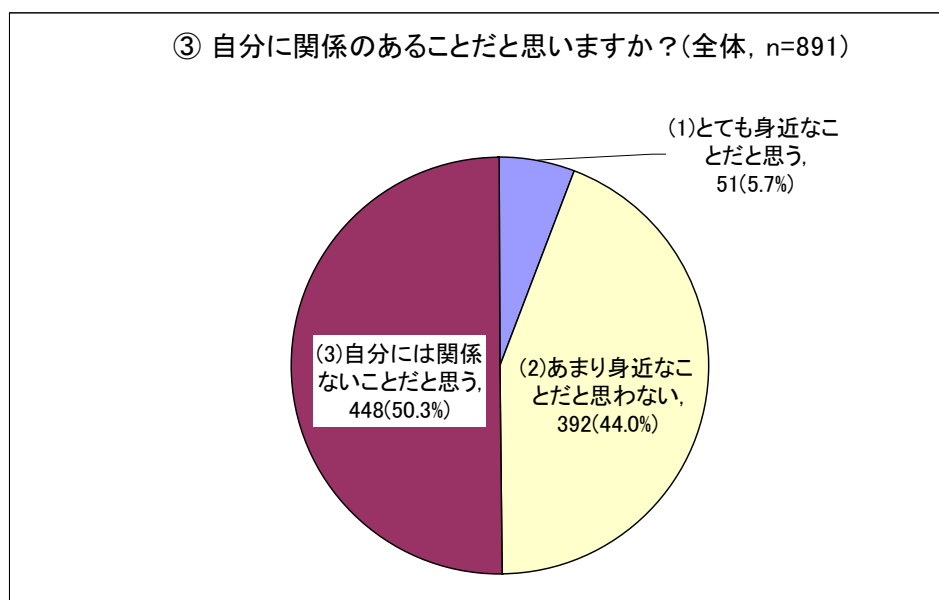
#### 【全体】

○DVが「自分に関係のあることだと思えますか？」との問いに対して (n=891), 「自分には関係ないことだと思える (50.3%)」, 「あまり身近なことだと思わない (44.0%)」の順に回答が多い。

#### 【男女別】

○女子と比べると、男子の方が、デートDVは「自分には関係ないことだと思える」と回答しており、女子よりも8.9%高い (男子：54.8%, 女子：45.9%)。

○男子と比べると、女子の方が、デートDVは「あまり身近なことだと思わない」と回答しており、男子よりも10.1%高い (男子：38.9%, 女子49.0%)。



## 5-④ 「デートDV」について詳しく知りたいと思いますか？

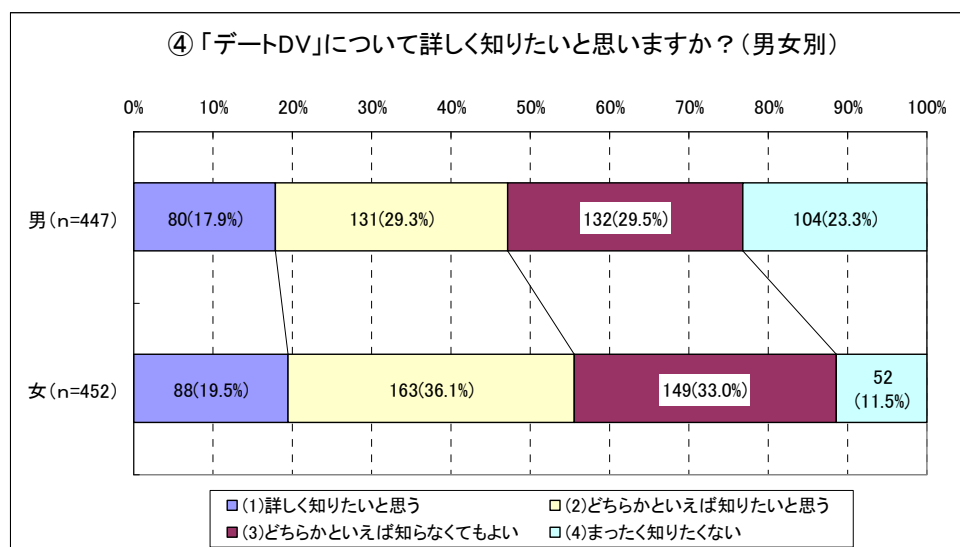
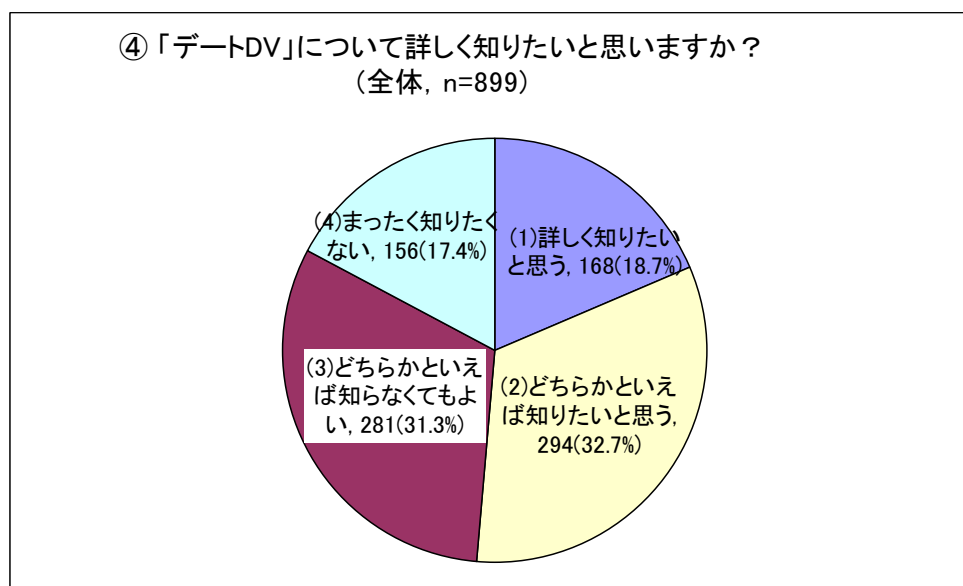
デートDVについて、知りたい、知りたくないという回答は半々である。

### 【全体】

○「デートDVについて詳しく知りたいと思いますか？」との問いに対して (n=899), 「知りたい」という回答 (51.4%) と、「知りたくない」という回答 (48.6%) は半々である (「どちらかといえば」を含む)。

### 【男女別】

○女子と比べると、男子の方が「知りたくない」と回答しており (「どちらかといえば」を含む), 女子よりも 8.3%高い (男子 : 52.8%, 女子 : 44.5%)。



# ～クロス集計～

## 【表の見方】

1-④ 家族に大切にされていると思いますか？  
3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？  
の両設問をクロス集計した実数を表す。

実測値		3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？				
		(1) 誰にも相談しない	(2) 友人に相談する	(3) 先生に相談する	(4) 家族に相談する	合計
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？	(1) 大切にされている	129	359	5	106	599
	(2) どちらかといえば大切にされている	98	127	4	17	246
	(3) どちらかといえば大切にされていない	12	17	2	2	33
	(4) 大切にされていない	12	2	0	0	14
	合計	251	505	11	125	892
「1-④ 家族に大切にされていると思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？				
		(1) 誰にも相談しない	(2) 友人に相談する	(3) 先生に相談する	(4) 家族に相談する	合計
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？	(1) 大切にされている	21.5%	59.9%	0.8%	17.7%	100.0%
	(2) どちらかといえば大切にされている	39.8%	51.6%	1.6%	6.9%	100.0%
	(3) どちらかといえば大切にされていない	36.4%	51.5%	6.1%	6.1%	100.0%
	(4) 大切にされていない	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	合計	28.1%	56.6%	1.2%	14.0%	100.0%
「3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？				
		(1) 誰にも相談しない	(2) 友人に相談する	(3) 先生に相談する	(4) 家族に相談する	合計
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？	(1) 大切にされている	51.4%	71.1%	45.5%	84.8%	67.2%
	(2) どちらかといえば大切にされている	39.0%	25.1%	36.4%	13.6%	27.6%
	(3) どちらかといえば大切にされていない	4.8%	3.4%	18.2%	1.6%	3.7%
	(4) 大切にされていない	4.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.6%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「家族に大切にされていると思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合。

網掛けは、回答項目の中で数値が最も高かった箇所を表す。

「交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合。

1-④ 家族に大切にされていると思いますか？

3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？

家族に大切にされていると思うと回答した生徒ほど、交際相手から暴力を振るわれたら、家族に相談し、家族に大切にされていないと思うと回答した生徒ほど、交際相手から暴力を振るわれたら、誰にも相談しないと回答している。

【クロス分析】

- 「1-④ 家族に大切にされていると思いますか？」と「3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？」との設問をクロス集計したところ（有効回答数 892）、「家族に大切にされている（「どちらかといえば」を含む）」と回答した生徒は 94.7%（845 名）であり、その内、「友人に相談する」と回答した生徒は 57.5%（486 名）、「誰にも相談しない」と回答した生徒は 26.9%（227 名）であった。
- 交際相手から暴力を振るわれたら、「家族に相談する」と回答した 125 名の生徒のうち、123 名（98.4%）が「家族に大切にされている（「どちらかといえば」を含む）」と回答している。
- 「家族に大切にされていない」と回答した生徒 14 名のうち、85.7%（12 名）の生徒が、交際相手から暴力を振るわれたら、「誰にも相談しない」と回答している。
- 交際相手から暴力を振るわれたら、「家族に大切にされている」と思っている生徒は、「家族に相談」し、「家族に大切にされていない」と思っている生徒は、「誰にも相談しない」と回答している。

実測値		3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？				
		(1)誰にも相談しない	(2)友人に相談する	(3)先生に相談する	(4)家族に相談する	合計
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？	(1)大切にされている	129	359	5	106	599
	(2)どちらかといえば大切にされている	98	127	4	17	246
	(3)どちらかといえば大切にされていない	12	17	2	2	33
	(4)大切にされていない	12	2	0	0	14
	合計	251	505	11	125	892
「1-④ 家族に大切にされていると思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？				
		(1)誰にも相談しない	(2)友人に相談する	(3)先生に相談する	(4)家族に相談する	合計
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？	(1)大切にされている	21.5%	59.9%	0.8%	17.7%	100.0%
	(2)どちらかといえば大切にされている	39.8%	51.6%	1.6%	6.9%	100.0%
	(3)どちらかといえば大切にされていない	36.4%	51.5%	6.1%	6.1%	100.0%
	(4)大切にされていない	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	合計	28.1%	56.6%	1.2%	14.0%	100.0%
「3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-⑤ 交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？				
		(1)誰にも相談しない	(2)友人に相談する	(3)先生に相談する	(4)家族に相談する	合計
1-④ 家族に大切にされていると思いますか？	(1)大切にされている	51.4%	71.1%	45.5%	84.8%	67.2%
	(2)どちらかといえば大切にされている	39.0%	25.1%	36.4%	13.6%	27.6%
	(3)どちらかといえば大切にされていない	4.8%	3.4%	18.2%	1.6%	3.7%
	(4)大切にされていない	4.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.6%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？

## 2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？

家事や育児は女性の仕事だと思わないと回答した生徒ほど、女性は男性に従うべきだと思わないと回答している。

### 【クロス分析】

- 「2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？」と「2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？」の設問をクロス集計したところ（有効回答 897 名）、「家事や育児は女性の仕事だと思う（「どちらかといえば」を含む）」と回答した生徒は 64.1%（575 名）であり、その内、「女性は男性に従うべきだとは思わない（「どちらかといえば」を含む）」と回答した生徒は 75.5%（434 名）であった。
- 「家事や育児は女性の仕事だとは思わない」と回答した生徒ほど、「女性は男性に従うべきだと思わない」と回答している。

実測値		2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？				
		(1)そう思う	(2)どちらかといえば そう思う	(3)どちらかといえば そう思わない	(4)そう思わない	合計
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	26	32	41	37	136
	(2)どちらかといえばそう思う	5	78	200	156	439
	(3)どちらかといえばそう思わない	3	7	72	91	173
	(4)そう思わない	0	6	17	126	149
	合計	34	123	330	410	897
「2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		(1)そう思う	(2)どちらかといえば そう思う	(3)どちらかといえば そう思わない	(4)そう思わない	合計
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	19.1%	23.5%	30.1%	27.2%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	1.1%	17.8%	45.6%	35.5%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	1.7%	4.0%	41.6%	52.6%	100.0%
	(4)そう思わない	0.0%	4.0%	11.4%	84.6%	100.0%
	合計	3.8%	13.7%	36.8%	45.7%	100.0%
「2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		(1)そう思う	(2)どちらかといえば そう思う	(3)どちらかといえば そう思わない	(4)そう思わない	合計
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	76.5%	26.0%	12.4%	9.0%	15.2%
	(2)どちらかといえばそう思う	14.7%	63.4%	60.6%	38.0%	48.9%
	(3)どちらかといえばそう思わない	8.8%	5.7%	21.8%	22.2%	19.3%
	(4)そう思わない	0.0%	4.9%	5.2%	30.7%	16.6%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？

## 3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？

交際相手と意見が合わないときには、自分の意見に従わせると回答した生徒の88.9%が、家事や育児は女性の仕事だと思うと回答している。

### 【クロス分析】

- 「2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？」と「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」との設問をクロス集計したところ(有効回答数 895)、「家事や育児は女性の仕事だと思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答した生徒は63.9%(572名)であり、その内、交際相手と意見が合わないときには、「話し合いで決める」と回答した生徒は74.8%(428名)と最も多かった。
- 交際相手と意見が合わないときには、「自分の意見に従わせる」と回答した生徒27名のうち、88.9%(24名)が、「家事や育児は女性の仕事だと思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。
- 交際相手と意見が合わないときには、「自分の意見に従わせる」と回答した生徒は、「自分の意見を言わないで相手に合わせる(15.7%)」や「自分の意見を言うが相手に合わせる(15.9%)」などと回答した生徒に比べると、「家事や育児は女性の仕事だと思う(「どちらかといえば」を含まず)」と回答した割合が高い(51.9%)

実測値		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	14	89	23	8	134
	(2)どちらかといえばそう思う	10	339	67	22	438
	(3)どちらかといえばそう思わない	0	134	33	7	174
	(4)そう思わない	3	110	22	14	149
	合計	27	672	145	51	895
「2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	10.4%	66.4%	17.2%	6.0%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	2.3%	77.4%	15.3%	5.0%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	0.0%	77.0%	19.0%	4.0%	100.0%
	(4)そう思わない	2.0%	73.8%	14.8%	9.4%	100.0%
	合計	3.0%	75.1%	16.2%	5.7%	100.0%
「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
2-① 家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	51.9%	13.2%	15.9%	15.7%	15.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	37.0%	50.4%	46.2%	43.1%	48.9%
	(3)どちらかといえばそう思わない	0.0%	19.9%	22.8%	13.7%	19.4%
	(4)そう思わない	11.1%	16.4%	15.2%	27.5%	16.6%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？

### 3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？

交際相手と意見が合わないとき、自分の意見に従わせると回答した生徒ほど、男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思う傾向が強い。

#### 【クロス分析】

- 「2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？」と「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」との設問をクロス集計したところ(有効回答数 894)、「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答した生徒は 89.1% (797名)であり、その内、交際相手と意見が合わないときには、「話し合いで決める」と回答した生徒は 75.5% (602名)と最も多かった。
- 交際相手と意見が合わないとき、「自分の意見に従わせる」と回答した生徒 23名のうち、91.3% (21名)が、「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思う(「どちらかといえば」を含まず)」と回答している。
- 交際相手と意見が合わないとき、「自分の意見に従わせる」と回答した生徒は、「自分の意見を言わないで相手に合わせる(60.0%)」や「話し合いで決める(55.2%)」などと回答した生徒に比べると、「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思う(「どちらかといえば」を含まず)」と回答した割合が高い(91.3%)。

実測値		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？	(1)そう思う	21	373	77	27	498
	(2)どちらかといえばそう思う	1	229	55	14	299
	(3)どちらかといえばそう思わない	1	41	15	2	59
	(4)そう思わない	0	33	3	2	38
	合計	23	676	150	45	894

「2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？	(1)そう思う	4.2%	74.9%	15.5%	5.4%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	0.3%	76.6%	18.4%	4.7%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	1.7%	69.5%	25.4%	3.4%	100.0%
	(4)そう思わない	0.0%	86.8%	7.9%	5.3%	100.0%
	合計	2.6%	75.6%	16.8%	5.0%	100.0%

3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-② 男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？	(1)そう思う	91.3%	55.2%	51.3%	60.0%	55.7%
	(2)どちらかといえばそう思う	4.3%	33.9%	36.7%	31.1%	33.4%
	(3)どちらかといえばそう思わない	4.3%	6.1%	10.0%	4.4%	6.6%
	(4)そう思わない	0.0%	4.9%	2.0%	4.4%	4.3%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



## 2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？

## 3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？

○女性は男性に従うべきだと思わないと回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答している。

○交際相手に腹がたったら、相手を攻撃したり、悪口を言うと回答した生徒は、がまんしたり、相手を見捨てるなどと回答した生徒よりも、女性は男性に従うべきだと思うと回答している。

### 【クロス分析】

○「2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？」と「3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？」との設問をクロス集計したところ（有効回答数 894）、「女性は男性に従うべきだと思わない（「どちらかといえば」を含む）」と回答した生徒は 82.4%（737 名）であり、その内、交際相手に腹がたったら、「自分の気持ちを言葉で伝える」と回答した生徒は 58.6%（432 名）と最も多かった。

○「女性は男性に従うべきだと思わない」と回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、「自分の気持ちを言葉で伝える」と回答している。

○交際相手に腹がたったら、「相手を攻撃したり、悪口を言う」と回答した生徒は、「がまんする（4.5%）」や「相手を見捨てる（3.6%）」などと回答した生徒よりも、「女性は男性に従うべきだと思う（「どちらかといえば」を含まず）」と回答しており、平均値（3.8%）よりも、約 10 倍高い（36.4%）。

実測値		3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？				合計
		(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を見捨てる	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える	
2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？	(1)そう思う	8	2	14	10	34
	(2)どちらかといえばそう思う	2	7	50	64	123
	(3)どちらかといえばそう思わない	4	21	126	177	328
	(4)そう思わない	8	26	120	255	409
	合計	22	56	310	506	894

「2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？				合計
		(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を見捨てる	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える	
2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？	(1)そう思う	23.5%	5.9%	41.2%	29.4%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	1.6%	5.7%	40.7%	52.0%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	1.2%	6.4%	38.4%	54.0%	100.0%
	(4)そう思わない	2.0%	6.4%	29.3%	62.3%	100.0%
	合計	2.5%	6.3%	34.7%	56.6%	100.0%

「3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？				合計
		(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を見捨てる	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える	
2-③ 女性は男性に従うべきだと思いますか？	(1)そう思う	36.4%	3.6%	4.5%	2.0%	3.8%
	(2)どちらかといえばそう思う	9.1%	12.5%	16.1%	12.6%	13.8%
	(3)どちらかといえばそう思わない	18.2%	37.5%	40.6%	35.0%	36.7%
	(4)そう思わない	36.4%	46.4%	38.7%	50.4%	45.7%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？

### 3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？

交際相手と意見が合わないとき、自分の意見に従わせると回答した男子全員が、男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思うと回答している。

#### 【クロス分析】

- 「2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？」と「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」との設問をクロス集計したところ(有効回答数 892)、「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答した生徒は 68.6% (612名)であり、その内、交際相手と意見が合わないときには、「話し合いで決める」と回答した生徒は 76.5% (468名)と最も多かった。
- 交際相手と意見が合わないとき、「自分の意見に従わせる」と回答した生徒 24名のうち、22名(91.7%)が、「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思う(「どちらかといえば」を含む)」と回答している。
- 交際相手と意見が合わないとき、「自分の意見に従わせる」と回答した生徒は、「話し合いで決める(27.6%)」や「自分の意見を言わないで相手に合わせる(27.3%)」と回答した生徒と比べると、「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思う(「どちらかといえば」を含まず)」と回答する割合が高い(70.8%)。

#### 【クロス分析(男女別)】

- 交際相手と意見が合わないとき、「自分の意見に従わせる」と回答した男子 13名、女子は 11名であり、その内、「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよい(「どちらかといえばそう思う」を含む)」と思うと回答した男子は 100% (13名)、女子 81.8% (9名)と、男女ともに高い結果となった。

実測値		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	17	186	38	12	253
	(2)どちらかといえばそう思う	5	282	53	19	359
	(3)どちらかといえばそう思わない	1	122	37	5	165
	(4)そう思わない	1	84	22	8	115
	合計	24	674	150	44	892

「2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	6.7%	73.5%	15.0%	4.7%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	1.4%	78.6%	14.8%	5.3%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	0.6%	73.9%	22.4%	3.0%	100.0%
	(4)そう思わない	0.9%	73.0%	19.1%	7.0%	100.0%
	合計	2.7%	75.6%	16.8%	4.9%	100.0%

「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	70.8%	27.6%	25.3%	27.3%	28.4%
	(2)どちらかといえばそう思う	20.8%	41.8%	35.3%	43.2%	40.2%
	(3)どちらかといえばそう思わない	4.2%	18.1%	24.7%	11.4%	18.5%
	(4)そう思わない	4.2%	12.5%	14.7%	18.2%	12.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 【男子】

実測値【男子】		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	10	114	24	10	158
	(2)どちらかといえばそう思う	3	139	29	10	181
	(3)どちらかといえばそう思わない	0	40	17	5	62
	(4)そう思わない	0	27	10	4	41
	合計	13	320	80	29	442

「2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	6.3%	72.2%	15.2%	6.3%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	1.7%	76.8%	16.0%	5.5%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	0.0%	64.5%	27.4%	8.1%	100.0%
	(4)そう思わない	0.0%	65.9%	24.4%	9.8%	100.0%
	合計	2.9%	72.4%	18.1%	6.6%	100.0%

「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	76.9%	35.6%	30.0%	34.5%	35.7%
	(2)どちらかといえばそう思う	23.1%	43.4%	36.3%	34.5%	41.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	0.0%	12.5%	21.3%	17.2%	14.0%
	(4)そう思わない	0.0%	8.4%	12.5%	13.8%	9.3%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 【女子】

実測値【女子】		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	7	72	14	2	95
	(2)どちらかといえばそう思う	2	143	24	9	178
	(3)どちらかといえばそう思わない	1	82	20	0	103
	(4)そう思わない	1	57	12	4	74
	合計	11	354	70	15	450

「2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	7.4%	75.8%	14.7%	2.1%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	1.1%	80.3%	13.5%	5.1%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	1.0%	79.6%	19.4%	0.0%	100.0%
	(4)そう思わない	1.4%	77.0%	16.2%	5.4%	100.0%
	合計	2.4%	78.7%	15.6%	3.3%	100.0%

「3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		3-① 交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？				合計
		(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる	
2-④ 男性は弱音をはかず、強たくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	63.6%	20.3%	20.0%	13.3%	21.1%
	(2)どちらかといえばそう思う	18.2%	40.4%	34.3%	60.0%	39.6%
	(3)どちらかといえばそう思わない	9.1%	23.2%	28.6%	0.0%	22.9%
	(4)そう思わない	9.1%	16.1%	17.1%	26.7%	16.4%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？

3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？

女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思うと回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったらがまんし、そうは思わないと回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、自分の気持ちを言葉で伝えると回答している。

【クロス分析】

- 「2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？」と「3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？」との設問をクロス集計したところ（有効回答数 893）、「女性は自己主張せず控えめなほうがいいとは思わない（「どちらかといえば」を含む）」と回答した生徒は 77.6%（693 名）であり、その内、交際相手に腹がたったら、「自分の気持ちを言葉で伝える」と回答した生徒は 61.3%（425 名）と最も多かった。
- 「女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思う」と回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、「がまんする」と回答している。
- 「女性は自己主張せず控えめなほうがいいとは思わない」と回答した生徒ほど、交際相手に腹がたったら、「自分の気持ちを言葉で伝える」と回答している。

実測値		3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？				
		(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を無視する	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える	合計
2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？	(1)そう思う	8	2	20	11	41
	(2)どちらかといえばそう思う	2	13	74	70	159
	(3)どちらかといえばそう思わない	5	25	123	211	364
	(4)そう思わない	7	16	92	214	329
	合計	22	56	309	506	893
		3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？				
「2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を無視する	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える	合計
2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？	(1)そう思う	19.5%	4.9%	48.8%	26.8%	100.0%
	(2)どちらかといえばそう思う	1.3%	8.2%	46.5%	44.0%	100.0%
	(3)どちらかといえばそう思わない	1.4%	6.9%	33.8%	58.0%	100.0%
	(4)そう思わない	2.1%	4.9%	28.0%	65.0%	100.0%
	合計	2.5%	6.3%	34.6%	56.7%	100.0%
		3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？				
「3-② 交際相手に腹がたったらどうしますか？」の回答項目ごとの総数に対して、クロス集計した実数が占める割合		(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を無視する	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える	合計
2-⑤ 女性は自己主張せず控えめなほうがいいと思いますか？	(1)そう思う	36.4%	3.6%	6.5%	2.2%	4.6%
	(2)どちらかといえばそう思う	9.1%	23.2%	23.9%	13.8%	17.8%
	(3)どちらかといえばそう思わない	22.7%	44.6%	39.8%	41.7%	40.8%
	(4)そう思わない	31.8%	28.6%	29.8%	42.3%	36.8%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## IV 有識者からのコメント

### ●宇都宮市「デートDVに関する中学生への意識調査報告書」について

宇都宮市男女共同参画審議会会長

宇都宮文星短期大学教授 山口哲子

#### 1. この時期に中学生への意識調査を実施したことの意義

近年、高校生や大学生などのデートDV問題が発生しており、教育機関、地域の相談窓口、被害者支援機関、警察などで認識され、問題への対応や問題を未然に防止する取り組みが始まっています。民間団体や地方自治体による実態調査からも、その状況が明らかになりつつあります。また、新聞、TVの報道番組やドラマ、漫画などにも事件やテーマが取り上げられ、広く社会に知られてきました。このような中、宇都宮市が他自治体に先駆けて中学生を対象とした意識調査を実施したことは、低年齢化しているデートDV問題を未然に防止するという積極的な態度を表明したものであり、大変意義深いことです。

#### 2. 調査結果の考察と課題

##### (1) 家族との関係や自尊感情について

家族に大切にされているという安心感をもてない生徒が5%程度、自尊感情をもてない男子生徒が3割以上、女子生徒が5割弱いることは、今後子どもたちの育ちを考えると心配なことです。家庭でも学校でも子どもたちの健やかなる生活環境を整えられるよう支援することが大切です。

##### (2) 性別役割分担意識について

まだまだ固定的な性別役割分担意識にとらわれていることがわかります。「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべき」という意識からは、若干の男女差があるものの、「経済力は男性に期待する」という考え方がみえます。また、「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思う」という考え方にも男性の8割弱が肯定的で、特に男性自身が強い男性像を描いています。「女性は男性に従うべき」と「女性は自己主張せず控えめがいい」に2割程度が肯定的です。自己主張というと自分の主張ばかりをしたがる良くない印象をもたれがちですが、「自分の考えをきちんと表現すること」は、対人関係においても社会生活においても、男女を問わず求められています。

性別役割分担意識は性差別の原因となるものですし、デートDVの加害者が共通してもっている意識です。そこで、デートDVを未然に防止するためには、性別役割分担意識を解消し、男女共同参画社会を推進するためのジェンダー平等教育を早い時期から積極的に行っていただきたい。

### （３）異性間の暴力における対応に関して

女性と比較して男性は「交際相手と意見が合わないとき」や「交際相手に腹が立ったとき」に自分の気持ちを伝える割合が低いようです。「交際相手から暴力を振るわれたらやめてという」こともそうですが、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることをしなければ、相手との対等な関係性をつくることはできません。また、「交際相手から暴力を振るわれたら」友達に相談すると回答していますし、誰にも相談をしないと回答した生徒も3割程度います。暴力についての正しい知識や対処法を理解していない友達への相談は更なる混乱と危険を招きかねませんので、教師や専門の相談窓口にたどりつけるよう指導する必要があります。

### （４）異性間の暴力への認識等に関して

「長時間無視する」などの精神的暴力は、暴力の痕跡が残らないために第三者からは分かりづらく、暴力をふるわれた人は、「身体的暴力」よりも深く傷つくことがあります。「いじめ」にも精神的暴力が含まれますし、携帯電話のサイトやメールを使った暴力は中学生にも身近な問題です。

### （５）DVについての認知・関心について

DV被害者は名古屋市の調査によれば<sup>※1</sup>、女子高校生・大学生の4人に一人、男子高校生・大学生の8人に一人です。また、交際しているカップルの3組に1組の割合でデートDVが起こっているという横浜市の調査結果もあります<sup>※2</sup>。そう考えると、間もなく高校生になろうとしている中学生にとっても、デートDVは、決して「自分に関係のないこと」ではありません。

## 3. 性教育と連携したデートDV防止教育の必要性

デートDVは、親密な関係にある男女間に起きる問題です。10代の青少年の性に関する意識、態度、性知識、情報源、性教育や社会的背景との関連の調査対象は、今や中学生にも及んでいます。この30年にわたる若者の性行動は著しく変化し、性的経験率の上昇、性的経験の早期化、女子の性行動の活発化に伴う男女差の解消が指摘されています<sup>※3</sup>。また、社会免疫学者の木原雅子は、「わが国の若者の性行動に『異変』がおきている」と、無防備な性交渉が性感染症・中絶→HIV感染→エイズ発病とつながることに警鐘を鳴らしています<sup>※4</sup>。「デートDV防止教育」と「現実を受け入れたうえでの性教育」を連携させ、「自己責任のもとでの自己決定力」を育てたいものです。

※1 名古屋市男女共同参画推進センター『デートDVに関する調査報告書』、2009

※2 横浜市市民活力推進局『デートDVについての意識・実態調査報告書』、2008

※3 財団法人日本性教育協会編『「若者の性」白書 第6回青少年の性行動全国調査報告』小学館、2007

※4 木原雅子『10代の性行動と日本社会—そしてWYSH教育の視点』ミネルヴァ書房、2006

## ●宇都宮市が実施した中学生へのデートDVに関する意識調査結果について

宇都宮市男女共同参画審議会委員

認定特定非営利活動法人 ウイメンズハウスとちぎ 理事長 中村明美

### 1 意識調査の意義について

配偶者からの暴力から被害者を守るために「DV防止法」ができたが、DV被害者の相談は増加している。なかでも、若い男女が交際するうちに、男性が暴力をふるう、いわゆるデートDVの相談も増えている。デートDVの加害者が交際相手やその家族を刺傷する事件が身近な所でもおきている。事件にならなくても、その被害のために仕事や学業を辞めざるを得ないことがある。DVがなぜおきるのかは、社会的な課題となっているが、その大きな要因の一つは「相手に暴力をふるってもよい」と考えている加害者の意識とそれを許容してきた社会の対応である。このような現状を変えていくには、若い世代の男女がデートDVのことを知識として学ぶことや相手との関係が対等であること、自分を大切にすることを意識することが重要であると考えていた。このような時期に宇都宮市が「デートDVに関する中学生への意識調査」を実施し、報告書をまとめたことは、今後のDV防止対策に大きな指標を与えるだろう。

### 2 考察

#### (1) 暴力に対する認識について

意識調査の結果で特に注目すべきは、94.2%の生徒が、殴ったり、蹴ったりすることは暴力であると回答しているが、5.8%の生徒がそう思わないと回答していることである。身体的暴力を5.8%もの生徒が暴力と認識していないとすれば、後に続く精神的な暴力に対する認識も当然、低いものとなっている。相談の中で暴力行為を「けんかの中では当然のこと」と考えているDV被害者や加害者に会うことがあり、その意識をどこで取り入れてしまったのかと疑問に思うことがあったが、このような生徒の暴力についての意識を変えていくことが課題である。

#### (2) 性別役割分担意識について

また、この調査ではDVの大きな要因の一つである「性別役割分担意識」も明らかにされている。例えば「家事や育児は女性の仕事だと思いますか」という設問に64.1%の生徒が「そう思う」と回答し、性別役割分担意識の高さを知ることができる。この回答と「女性は男性に従うべきか」という設問とのクロス集計では、性別役割分担意識の低い生徒ほど「女性は男性に従うべきだと思わない」と回答している。DVは従属した関係で起きることから性別役割分担意識の結果に注目すべきである。「男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか」「男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか」「女性は自己主張せず控え目な方がいいと思いますか」などの設問では、男女ともに、「男らしさ、女らしさ」の意識の取り込みが大きいことが現れている。

### (3) DVの認知・関心について

DVの認知・関心について全体的に言えば、「自分に関係のあることだとは思わない」ということでまとめられるが、3人に一人が身体的、精神的、経済的、性的な暴力を受け、5人に一人の女性が身体的暴力を受けているという内閣府の調査からみれば<sup>※5</sup>、この生徒たちの認識を早い時期に変えていく必要がある。この調査をもとに生徒たちが、被害者にも加害者にもならないよう、DV防止の人権教育が広がることを期待している。

---

<sup>※5</sup> 内閣府男女共同参画局『男女間における暴力に関する調査報告書』、2009



# V 資料編

## 男女間の人権意識に関するアンケート調査

### アンケート調査のお願い

●このアンケートは、宇都宮市が中学生の皆さんを対象に、男女間の人権に対してどのような考え方を持っているかについて調査するものです。調査の結果は、今後、異性間においてお互いを尊重し合い、より良い人間関係をつくっていくために、宇都宮市としてどのような取組が必要であるかを考えるうえで参考にさせていただきます。

●クラスや氏名を書く必要はありません。あなたの学校の先生や友人、家族が見ることはありませんので、ありのまま正直に答えてください。答えたくない部分は答えなくてもかまいません。該当する番号( )に○を1つずつつけてください。

中学校3年 男・女 ←どちらかに○

No.	質問事項	回答 (1つ選んで番号に○)			
<b>友人や家族などの関係についておたずねします。</b>					
1	①友人と一緒にいることは楽しいですか？	(1)楽しい	(2)どちらかといえば楽しい	(3)どちらかといえば楽しくない	(4)楽しくない
	②友人に大切にされていると思いますか？	(1)大切にされている	(2)どちらかといえば大切にされている	(3)どちらかといえば大切にされていない	(4)大切にされていない
	③家族と一緒にいることは楽しいですか？	(1)楽しい	(2)どちらかといえば楽しい	(3)どちらかといえば楽しくない	(4)楽しくない
	④家族に大切にされていると思いますか？	(1)大切にされている	(2)どちらかといえば大切にされている	(3)どちらかといえば大切にされていない	(4)大切にされていない
	⑤自分のことが好きですか？	(1)好き	(2)まあまあ好き	(3)あまり好きではない	(4)きらい
<b>男女の役割などについて、あなたの考えをおたずねします。</b>					
2	①家事や育児は女性の仕事だと思いますか？	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	②男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思いますか？	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	③女性は男性に従うべきだと思いますか？	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	④男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよいと思いますか？	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	⑤女性は自己主張せず控えめなほうがよいと思いますか？	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
<b>あなたが交際(異性と付き合う)した場合、次のような時に、自分はどのように対応すると思いますか？</b>					
3	①交際相手(付き合っている異性)と意見が合わないときどうしますか？	(1)自分の意見に従わせる	(2)話し合いで決める	(3)自分の意見を言うが相手に合わせる	(4)自分の意見を言わないで相手に合わせる
	②交際相手に腹がたったらどうしますか？	(1)相手を攻撃したり、悪口を言う	(2)相手を無視する	(3)がまんする	(4)自分の気持ちを言葉で伝える
	③交際相手に暴力を振るってしまったらあなたはどうしますか？	(1)あやまる	(2)あやまらない	(3)その場を離れる	(4)交際をやめる
	④交際相手から暴力を振るわれたらどうしますか？	(1)やめてと言う	(2)やり返す	(3)がまんする	(4)その場からにげる
	⑤交際相手から暴力を振るわれたら相談しますか？	(1)誰にも相談しない	(2)友人に相談する	(3)先生に相談する	(4)家族に相談する
<b>交際相手との間で次のような行為があった場合、その行為を暴力であると思いますか？</b>					
4	①殴ったり蹴ったりする	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	②物をこわしたり、怒鳴ったりする	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	③長時間無視する	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	④メールなどで行動をチェックし、制限する	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
	⑤交際相手との間では暴力は起こらないと思う	(1)そう思う	(2)どちらかといえばそう思う	(3)どちらかといえばそう思わない	(4)そう思わない
<b>DV(ドメスティック・バイオレンス)についておたずねします。</b>					
5	①「DV」を知っていますか？	(1)どんなことが知っている	(2)聞いたことはあるがわからない	(3)まったく知らない	
	②「デートDV」を知っていますか？	(1)どんなことが知っている	(2)聞いたことはあるがわからない	(3)まったく知らない	
	③自分に関係のあることだと思いますか？	(1)とても身近なことだと思う	(2)あまり身近なことだと思わない	(3)自分には関係ないことだと思う	
	④「デートDV」について詳しく知りたいと思いますか？	(1)詳しく知りたいと思う	(2)どちらかといえば知りたいと思う	(3)どちらかといえば知らなくてもよい	(4)まったく知りたくない

**デートDVに関する中学生への意識調査報告書**

**平成22年12月**

**発行・編集 宇都宮市 市民生活部 男女共同参画課**  
**〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号**  
**TEL 028-632-2346**  
**FAX 028-632-2347**  
**E-mail u1810@city.utsunomiya.tochigi.jp**